京城日報

七日夕刊
（朝夕刊併せて一ヘ）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金五十五錢　郵税一ヶ月金十錢
廣告料金

發行所　京城太平町通一丁目　京城日報社
編輯人　小川三之助
印刷人

○休戰談判結果

講和問題は歐洲列國會議迄保留

四日露都來電＝露獨休戰談判委員は三日ペトログラードに會見したるが其の結果は單に休戰問題を考慮するのみに止め講和問題の審議は之を歐洲列國會議迄保留するに決したり（倫敦電報）

○休戰提議と獨宰相言明

露國民困難の現狀に同情す

十一月二十九日獨逸議會開かれ百五十億馬克の戰費支出承認案提出せられたる事は既電の如し其の際新宰相の演說中露國休戰提議に關する部分を摘記すれば左の如し（ベルン電報）

露國政府は十一月二十八日外相ツロツキー氏總理レーニン氏の名を以つてツアルスコイエセルより無線電信を以つて各交戰國に對し休戰及び平和に關する交渉開始を提議せり之に對し予は左の事を言明するに憚らず即ち今日迄露國政府の發表せる提議中吾人は講和談判の基礎となし得るものを認め得べきこと及び予としては露國政府より講和全權使を派遣せば直ちに談判に應ずべき覺悟なること是なり而して此の努力成功し平和を來たさん事を切望す、尚ほ露國民困難の現狀に對しては同情に堪へず我が獨逸帝國の希望する所は諸種關係殊に經濟關係を復活せんとするに外ならずポーランド、リタウヲン、コールランドに關しては是等國民の自治機關を尊重し之をして自己固有の文化に相當する狀態を執らしめんと欲す其他の事項に關しては未だ言明の時機に非らず

○墺國休戰歡迎發表

露國政府よりの提議受信

維也納通信は十一月二十八日墺國軍司令部ガッアルスコエセロ無線電信局より休戰及び一般平和に關する露國政府の提議を受信し二十九日墺匈國政府の名にて歡んで此の提議に應ず可き意味の返電を送れりと發表したり（ベルン電報）

○休戰と墺回答內容

議會に於ける首相の言明

十一月三十日墺國議會に於て內閣總理大臣は露國の講和提議に對し承認の回答をなせる事を發表し且つ講和に關する墺國の精神は從來の主張の如く諸國の妥協親善を主とし飽迄も土地及び經濟上の强制手段を採らざるに在りと明言せり（ベルン電報）

○農民代表者決議

農民代表者は全露會議に於て決議案を通過し土地分配に關するケレンスキー氏の中產階級政府の緩漫なる行動は罪惡を構成すと聲明し耕作の價値ある農地全部、家畜類、農具にして實際に耕作に從事せざる者の所有に係るものは直ちに之を土地委員の手に移し一般農民間に分配す可しと主張したり（倫敦電報）

○哈爾賓市內警戒

商務總會は五日朝哈爾賓市內の支那商人に閉店警戒を命じ同時に支那兵一個中隊市內に繰込み公園を中心に兵員を配置せり（哈爾賓電報）

○豆油禁輸と大連

米國にて豆油の輸入を禁止せる旨大連各取引所に入電ありたるが大連より米國に輸出する豆油は一年二十萬噸に上り而も米國は輸出の最大販路なるを以て同地に於ては多大の注意を惹けり尤も特種の例外のものありとの事なれど制限無く而して豆油の大部分は米國に於て食用に限せらるゝものなり（大連特電）

○東洋協會京城分校獨立か

東洋協會にては京城分校を專門學校組織に改め獨立せしむ可しとの計畫ある由（東京電報）

海軍計畫豫算

八六艦隊現出

海軍計畫の豫算は此程大藏省の發表せる如くなるが海軍航空隊增設各工廠の船渠擴張及び水陸設備無線電信所設備に關する所要經費並に計畫年限等も既に發表せられたる通りにして

△前後二回に　分ちて要求したる軍備充實費追加總額三億五十四萬八千圓、六箇年繼續明年度より三千五百四十四萬四千圓なり而して船艦の新造內容は巡洋戰艦二隻巡洋戰艦三隻大型驅逐艦十六隻小型驅逐艦十一隻潛水艇四十八隻特務艦六隻なるが之を以て見れば新たに巡洋艦二隻を加ふ可きが故に既定の八四艦隊を合する時は戰艦八隻巡洋戰艦六隻となり即ち八六艦隊を現出する次第なるが是れ或は將來の八八艦隊計畫の前提なる可く觀せられざるにあらず

△八六艦隊に　ては戰鬪上基本艦隊としての意義を爲さゞるを以て近は將來舊劍艦の二巡洋艦の艦齡第一期を經過し第一列に立つて雄飛する能はざるが故に之に蓄し新巡洋艦の二隻建造計畫は右の艦の補充代艦となる可きを以て其の實質に於ては依然完全なる八四艦隊を維持するものと云ふべし而して爾餘の輕巡洋艦、驅逐艦及び潛水艇の建造案は將來の大艦隊補助艦艇として最も有力なるべきものにして讀し完成の曉には偉大なる勢力を現出するに至らん（東京支局）

海軍補充と製艦能力

項の如く海軍にては來る十二年度までには所謂八六艦隊の完成を期するものなるが目下我國に於て軍艦を建造し得る能力ある造船所は[illegible]工廠、長崎三菱、神戶川崎[illegible]私設造船所造洋艦は[illegible]

△建造すべき　處は如上の外佐世保工廠及驅逐艦建造の能力あるものは海軍工廠全部の外川崎、三菱、大阪鐵工所浦賀船渠等にて潛水艇は呉、橫須賀工廠及び神戶川崎造船所にして長崎の三菱造船所も目下其の準備中なるを以て如上の[illegible]に於て議會の協贊を得ば全部內地に於て建造すべき方針なりと傳聞す（東京支局）

郵貯規則改正

郵便貯金規則中振替貯金拂出證書の有効期間は振出の日より六十日とあるに貯金拂戾證書有効期間は發行の日より起算して六十日とある爲め其の間に錯誤を生じ易きを以て其の點に改正を加へ十二月八日總督府令を以て發布即日施行さるべし

空貨制裁

安藤運輸課長談

出穀季に入りて各驛に滯貨の堆積あり然も其の滯貨の中には自己の貨物を速に輸送せしむる者へより

△實際量以上　乃ち空貨の輸送申込みを停車場に致し居るもの尠なきに非ず之等は一層滯貨の整理を大にし又善良なる多數荷主の爲め障礙となる事少なからざるが右空貨の取締に付安藤運輸課長は曰く目下內地行き貨物の朝鮮全線停滯は約二萬噸なるも此內現品なき申込乃ち空貨は約三千噸內外を算する見込みなり而して此の空貨申込は鐵道として

△滯貨の整理上　非常に不利を感じ又迷惑少なからざるに付一般鐵道貨物輸送の圓滑を期する必要上今後は釜山大田龍山平壤各運輸課派出員をして常に絕へず其の所管線を巡回せしめ若し空貨の事實を發見せし時は制裁として其の空貨申込者の別に停車場へ託送せる實在の貨物を北驛滯貨中の最後番に輸送する途をとる方針なり之れ若干荷主にとりては酷過の嫌あるも

△全線輸送　の整理上止むを得ざるなり更に各驛長に對しては此次貨物受附の際現品と精細に照合するやう示牒示達をなし居るに拘はらず尙ほ空貨の受附をなす如き事あらばそは綱ひたる怠慢に付假借する處なく相當の處分をとる事となしたり

朝郵大阪航路

七日より開始

朝鮮郵船會社にては遞信局の[illegible]により[illegible]大阪に延長する事となし[illegible]記せしが[illegible]十日より開始する[illegible]平壤丸は清津、城津、元山、釜山、[illegible]に寄港の上十四日大阪へ[illegible]に[illegible]浦鹽に引返すべく[illegible]安丸は七日[illegible]津、清津を經て浦鹽[illegible]に就航すべし[illegible]の往復は五日乃至遞信局[illegible]は阪神まで[illegible]

定例長官會議

七日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き政務總監以下各部局長官參集諸般の政務に就き協議を遂げたり

鮮銀券膨脹

朝鮮銀行券の六日現在發行高は六千六百四十萬八千圓に膨脹したるが一日より三日迄に存したる百餘萬圓の制限外發行は四日之れを廢し證券準備發行三千萬圓外の全發行高は正貨準備により居れり尙ほ目下の小額紙幣の發行は六十二萬圓なり

北鮮鰤豐漁

清津近海の鰤漁は引續き益々豐漁にして十月二十日の初漁以來十一月二十五日迄の總漁獲高は三千萬尾約十萬圓に達する未曾有の大豐漁にして目下清津港灣に於て從業する漁船數は地曳網二十統外に小地曳網二十統中着網三統角網二十統外に小地曳網二統の多數に達し一時殷盛を極めたる鰤漁業も全く其の跡を收むるに至れりして例年該漁業は昨年より盛漁期に入るが例なれば今後も二十日頃までは引續き大漁あるべく斯くて總水揚高十五萬圓に達するは明なるべしと尙ほ相場は大物一尾十七八圓を唱へ北道奧地に若干の發送を爲す外全部鰤物として元山釜（以下不明）

遞信協會幹部

遞信局員を以て組織する遞信協會は近く成立愈々大正七年一月より其の機關雜誌を發行し會員相互間の不幸に對する慰問其他を行ふ事となりしが其の總裁には多分山縣政務總監を推戴する事となるべく會長には持地遞信局長官又理事は各課所長並に副事務官を以て之れに充て理事の主任は庶務課長とし幹事等は同課員中より選出さるゝ筈（[illegible]）

白隱元反別增加

[illegible]間島方面は移住者の增加と共に年々開發を見つゝあるが其農產に於ても著しき進展を來し其筋の調査に依れば本年の白隱元作付反別は昨年の約五倍弱三千町歩以上に達し其の產額二萬九百四十三石內外なり尙ほ其の產額に於ても昨年の約三倍二萬五千石內外にして一反歩の收穫高來約一石四斗平均の收穫あり本年の收穫を前年と比較せば今後同地方に水利工事の充分企畫されたる暁に於ては耕地約七千三百[illegible]歩の見込みなりと（間島）

八月上旬より螟虫發生し水稻に被害ありたる價額約三百圓に達する被害あり

各道作物被害

[illegible]北道、鐘城、吉州、城津、富寧、[illegible]

各種物手數料券

（全羅山穀物）[illegible]檢査所にては檢査の敏速を圖る爲め穀物手數料券（五圓、二圓、五十錢、十錢、五錢、二錢）を制定し來る十二月十日より實施するなる[illegible]

○南方對總統電照

馮總統進退兩難に陷る

北京政界は[illegible]南方派は其の[illegible]總統の手に[illegible]とす[illegible]方と講和するの意を表し其の上にて講和條件の協商に入るを至當とす然らざれば誠意無きものと認め飽く迄武力に訴ふ可しと孫洪伊氏を介し馮總統に宛て打電し來れり而して一方天津會議は絕對に[illegible]閣[illegible]復[illegible]を强要し居れば今や馮總統は進退兩難に陷り總統一[illegible]々豐東なからんと（北京特電）

○武力解決と任命

中央政府は軍事會議の結果斷然武力解決に決し五日討伐軍總指揮に就き其體的の決定を爲せり其の結果曹錕氏を總司令に張懷芝氏を陸軍總長に任す可し（北京特電）

○鶴田總監消息

陸軍省囑託鶴田總監は六日大連に到着せり（大連特電）

○藤原顧問北上

支那交通部顧問藤原正文氏は松田清氏と共に七日朝來奉同日午前十時四十分發京奉線列車にて北京へ向へり（奉天特電）

○江藤代議士通過

代議士江藤哲藏氏は七日朝著釜直ちに京城に向へり（釜山特電）

○木村理事通過

木村鮮銀理事は七日朝著釜午前十時半發列車にて京城に向へり（釜山特電）

□灰殼化した鹿兒島

山縣五十雄

無佛兒桃下、生は今鹿兒島市外吉野の高地に於ける舊師マードック先生の閑居に於て、櫻島と相對しつゝ筆を執りつゝあり。生の鹿兒島に來るは今回が四度目なり。其度每に此地の山水の美に打たれざることなけれど、今回は格別に驚かされたり、其ハイカラ化したるに驚かされたり。電車は市中に走り居り、高大なる百貨店は二つまでも建てられたり。試みに其一なる山形屋を見たるが、四階の宏壯なる建物にして、其大さは少なくも京城の三越支店に三倍せり。此處に賣らるゝ百貨も亦多くは頗るハイカラなるものにして、賣子は華美に化粧せる少女なり。純撲を以て聞ゆる薩摩の國の都會に此現代の象徴を見て、生は多少の感慨なくんばあらず。

爆發後の櫻島は其形姿思ひし程に變り居らず、唯其山腹の大部分が灰に蔽はれて灰色となれるが爲めに見る眼に幾何の痛みを與へずんばあらず。遠く海に流れ出でたる溶岩は今猶ほ冷却せざるにや、濛々たる蒸氣の絕ゆる間なく立ち上騰するを見る。

鹿兒島の暖さは格別なり。今日は土地の人は甚だ寒しといふ。然るに生は寧ろ暖過ぐるの感あり。く窓の硝子障子を明け離すも、猶ほさし入る日光に背を曝す時は、ほこ〳〵と温みを覺へて睡魔の襲ひ來るを防ぐ能はず。庭前蜜柑の樹は累々たる黃金色の實をつけて枝重く垂下し、老犬は其蔭に假睡みつゝあり、野菊は猶ほ咲き亂れ紅葉は鮮かに映わ居れり。

今夕夜行列車にて神戶を經て京に向はんとす。鹿兒島のハイカラ化したるに驚きたる生は定めし東京の變化に頂に驚倒するならん匆々（十二月五日鹿兒島に於て）

○道府郡參事任免

黃海道參事一名缺員中の處十一月二十四日付を以て李允健氏任命されたり△平安南道平壤府參事蔡元赫氏病氣辭任に付き其後任として十二月一日金鎬潢氏任命されたり△全羅北道群山府參事尹相天氏退職し十一月二十九日後任として申錫雨氏任命されたり△慶尙南道統營郡參事李廷燮氏十一月三十日辭任し其後任に十二月一日付を以て李奭基氏任命さる

○郡廳位置變更

今回京畿道廣州郡廳の位置を同郡慶安面京安里に變更さるゝこととなり七日總督府令を以て發布十日より實施さるべし

○京城手形交換高

京城手形交換所に於ける十一月中小切手約束手形其他證書の交換高を聞くに枚數合計四萬三千三百五十一金額一千二百七十萬六千二百二十五圓三十六錢を算せるが此の一日平均手形枚數一千七百三十四枚交換金額五十萬八千二百四十五圓一錢なり之を前月中一日平均枚數一千八百四十七枚交換金額五十一萬一千六百六十六圓五十五錢に對比せば枚數に於て百餘枚金額に於て三千百餘圓の減少を示せるも之を前年同期に於ける交換高に比較する時は著るしき增加を見たりと

○丸吉回漕部解散

元山同地の合資會社丸吉回漕部は多年同地に於て回漕業を營なみ信用厚く且つ相當の成績を擧げゐたるが最近業務執行社員並に支配人等の間に刑事問題を惹起せしより信用を失墜し立つ回漕部としては前途の經營甚だ遺憾を感ずる事多きを以て最近出資社員たる朝郵專務吉田秀次郞朝郵釜山支店長石垣孝治並に安座上眞の諸氏京城に會同協議の結果會社解散に決定したるが同社解散後朝鮮郵船は多分府廳の廻漕部を元山に設くべしと

○川瀨博士入京

東京帝國大學教授農學博士川瀨善太郞氏は慶尙南道に於ける東京大學演習林の視察を了へ七日朝入京總督府に小原農商工部長官、田中山林課長を訪問せり

○大邱新兵入營

大邱步兵八十聯隊第一第二大隊に入營すべき新兵五百五十一名は六日午後十時三十分大邱驛著直ちに兵營に入りたるが大田第三大隊に入營すべき約二百七十餘名も同列車にて大邱驛通過大田に向ひたり（大邱）

○總稅務司入京

北京駐在英國支那總稅務司アグレン氏は七日夜新義州より入京す可し

○英大使館書記官

英國大使館附書記官ランプトン氏は今七日夜入京朝鮮ホテルに投宿す可しと

○鮮銀總裁東京發

美濃部朝鮮銀行總裁は三日頃東京發の豫定なりしも所用のため延引せしが多分七日發九日入京の事となるべし

○鮮銀新任所長出發

朝鮮銀行大邱支店次席より會寧出張所長に榮轉せる太田善之助氏は七日午後大邱發赴任せり（大邱）

○安藤堅次氏退院

御承知の如く御令息病院に入院中なりし朝鮮郵船會社氏は最近退院し目下自宅に於て靜養中也

木浦

△客月貿易　十一月中に於ける木浦貿易の狀況を聞くに移輸入二十五萬二千四十七圓移輸出百一萬一百六十八圓にて之を前月に比すれば移輸入に於て十萬四千八百十三圓移輸出に於て八十二萬七千百五十五圓の激增を示し備前年同月に比すれば移輸入に四萬四千百三十五圓移輸出に八十三萬六千七百三十七圓の增加なるが右は重に綿花及び米の移出旺盛の結果なりと△木浦驛成績　十一月中木浦驛乘客は九千四百四十一人料金七千四百二十四圓降客八千八百二十一人百四十九人入場者一千八百十八人にして手荷物收入六十一圓五十八錢小荷物收入四百三十三圓三十五錢其他を加へ客車收入計八千七百十圓備貨物運賃一萬零二百二十三圓九十三錢諸掛貨物賃一千百四十二圓六十七錢の外發著手數料立替

人事消息

△多賀谷小次郞氏（總督府技師）忠北同郡同忠州郡へ出張中なりしが六日歸任
△坂田鹿藏氏（總督府技師）同官舍開通式參列後咸興方面の視察を終へ六日夜歸京
△ゴールドウイン大尉（米國大使館附武官）七日朝退京元山へ
△加茂德三氏（小野田セメント會社技師）同平壤へ
△中村精七郞氏（朝鮮郵船）七日朝著南大門通過釜山へ
△西田常三郞氏（元山實業協會長）七日朝入京同本旅館へ投宿
△大池忠太氏（京城商業會議所）七日夜大邱へ

露西亞何故混亂するか（二）

○これを要し來るに、露國民は國語と宗教とに對する保護と奉仕との國及び國民であつたのである。○斯くて倘暫くの間は、恐らく世紀をもつて數へた、ある時に到る迄一般諸外國の近世的生活の壓迫に遭ひ、また內核より發するスラブ魂のこれに反抗するに遇ひ、矛盾と壓迫とに苦しい混亂を重ねてはならないであらう。○恐らくは百年を以て數へる後に於て、奇蹟の如く出現したるツアールを持つまで、そして白堊金十字の都―聖なる都の名をもつて、露國民に魔術の如き魅力を持つモスクワに都の遷るまで、この混亂は定まらないであらう。露西亞人は決してツアールを捨てるものではない、捨て得る人種ではない。そして露西亞の宗教は亡ぶるものではない、宗教亡ばざるに於て、この國民それ自身は、また決して滅するものではないのである。

○イワン帝建國の記念なる『聖母保護殿堂』は、今日も尙モスクワの空高く、クレムリン王宮の障壁の上に、各々異つた形狀を持つ圓天井の無數なる小寺院を從へて、鐘の齒の樣に現れて、朝日に夕日に輝いてゐる。そしてその建築のすべての石材に塗附された特有の色彩は、蛇の皮の樣に、龍の鱗とも見ゐる樣に、または熱帶地方にゐる色彩の强い鳥の羽毛を思はせる樣に、物凄く四圍を威嚇してゐる。そして奇蹟の都、一日數千人の眼線が目指として集り來る聖なる都、眞正ロシア帝國の神聖なる中心である都モスクワに、いづれは再び首都の遷るであらう事を思はせてゐるのであらう。（あきら生）

全國民が唯一人で

◆あるかの様に一致せる米國◆

＝不可能を爲し遂ぐ可く＝

米國總領事 ミラー氏車中談

石井特派大使接待の爲め本國に召還され其任務を果して六日夜夫人令孃同伴京城へ歸任したる米國總領事ミラー氏を水原驛に出迎へ列車に乗込めば氏は快く記者を引見て『態々御出迎へ下さつたのですか夫れは有りがたう、徳富さんも阿部さんもお達者ですか、徳富さんは支那漫遊中ですか

▽◆種々面白いこと がありませう、先刻香港總督が狩猟に來られたさうですね、何が獲れましたか──雁に鴨？猛獣狩では無かつたのですね、釜田の驛で虎を二頭見ましたが、アレは誰れが獲つたのでせう、山本さんが獲られたのですか、私は友人の手紙で香港總督が猛獸狩りに來られる樣に承知してゐたのですが、聞違つてゐたのですねハツハヽヽ

▽◆塞に愛相が好い 話の杜切れたる處を狙つて記者が『米國の土産話を承り度い』と[illegible]を吐くや、氏は容を正して『目下共同宣言に就ては、宣言其のもので居ます、何しろ米國は戰爭の[illegible]と、石井子爵の説明で盡されてあります、一句も附け加へる餘地はありません、石井子が米國の議會で演説をせられる時に、私も議席で聞いて居ましたが、實に立派な演説でした、[illegible]好感を以て迎へられたのであります

▽◆一般に好影響を 與へました、米國民は衷心から其使を歡迎しました、夫れから米國民の現狀に就ては、國民全體が一致協力して[illegible]如何なる障礙をも排除して[illegible]目的を達すべく[illegible]國民の責任を果すべく努めてゐると云つたら宜いでせう、開戰には平和論者も[illegible]ブラウン氏一派の平和論者は大に開戰の不可を唱へましたが、何しながら[illegible]已むを得ず

▽◆開戰した以上は 既に唯一人の反對者もあります[illegible]、今や米國民は全國民が唯一人であるかの様に能く一致して居ます、何しろ米國は戰爭の[illegible]めに不可能事を爲しつゝあるのです、否や米國計りではありません、英國も佛國も其他聯合各國が皆同樣です、各國民擧つて懸命に努力すべき秋なのです、而して不可能を可能ならしめねばなりません、之れが爲めに米國に於ては國家の凡ての敎育其他の機關が

▽◆其準備に忙はし いのです、萬般の模樣も平和の代とは無論變つて來てゐます、不可能な事を爲し遂ぐる爲には十分の準備が要りますからね、然し其準備の成るのを待つてはゐられませんよ[illegible]

▽◆諸國が單獨講和 の交渉を開始しましたか……と聞かれ[illegible]イヤ夫れは出來ますまい、然し假令如何なる障礙を打開しても成し遂げ度く努力して居ます、抑も歐洲の大亂も不可能事と思推されてゐたのですからね

京城駐在米國總領事ミラー氏と同夫人（向つて左より）

電燈料一改正

晝夜點燈制の開始

京城電氣會社にては一般電燈點火者中近來晝夜點燈を希望する者漸く多きを以て十二月より其の需に應ずる事とし晝夜間最低料金を新に定めたるが其の率は七日本紙朝刊廣告の如く夜間一箇月の低料金の五割増となり居れり、尙ほ右の外には何等電燈料の改定を行はず從前の儘なり

一家八名人事不省に陷る

龍山[illegible]原郡江[illegible]町[illegible]鑑石郞[illegible]同妻タミ、長男の妻及び親戚女中[illegible]八名は六日朝突然人事不省[illegible]午後一時に至り死亡[illegible]他の一名は危篤に陷り[illegible]者は目下取調中なるが石炭瓦斯の[illegible]に依り中毒せしには非ざるかとの嫌疑を受け引續き取調中なり

心細い瑞典の國民

▽戰爭の影響は直接に間接に

瑞典駐在公使館附武官 井出海軍中佐談

食糧品制限問題は

▽昨年あたりから非常に八釜敷なつて昨今では切符制度に依つて一人一食分のパンは四十グラムに制限され、白パンは醫師の證明がなければ販賣せしめぬ事に…し今年の十一月からは瑞典に於ても最も豐富に生産せられる牛乳すら産婦とか病人とか云ふ者で醫師の處方箋に依つて五合五勺迄は給せられるが其他の者は一合五勺以上は買ふ事は出來ぬ、バタの缺乏は又甚だしく蠟燭なども

本年のクリスマス

に用ひらるる數量のは未だ不足して居る有樣であるから流石に從來は平和に富裕の國民の生活も思想も漸次險惡に傾いて勞働者の如きは普通人の二倍程のパンを與へられて居りながら不滿足の聲を擧げて時々發官と衝突する一般國民は國家なる障壁は人類共同の福祉を破壞する者であると思想を抱く樣になつて來た

斯様に戰爭の影響

は直接間接に瑞典を苦しめて居る爲めに識者は非常に頭を痛めて居るが如何に國民が穩健な思想を有つて居るとしても、食足らなければ國民が如何に節度ある生活を營んでも思想もどうかと戰爭に於ける思想…

白國の山川に愛著

▽の念が無く米國やドイツ等の殖民地へ出稼に出て了ふ從つて國内の人口は減ずる一方で最近の調査に依ると一平方キロメートルの内に十二人しか棲んでゐないと言ふ狀態であるから政府では戰時の移民の制限をしてゐるが一方に國民の生活狀態を見ると人口が少くて出稼ぎに依る通貨の流入が多いから貧富の懸隔もなければ從つて特殊の社會問題も起らぬ、國民の思想は穩健で東洋流に言へば

衣食足つて禮節を

▽知ると言ふ樣な生活を營んで居つた然るに歐亂の勃發以來不生産國の悲しさには食糧品も化學工業品も衣類も總ての者が英佛海軍の北海封鎖に依つて輸入杜絶して只僅かに疲弊困憊の獨逸と交換條件を結んで瑞典からは鐵を送り獨逸からは石炭や馬鈴薯其他の食糧品を輸入して辛うじて需要を滿してゐるが夫れとて思ふ通りには行かない

一箇月目に屍體發見す

兒を背負うて投身した女

京城南大門通三丁目米穀商谷村力太郞氏長男政雄（二三）の妻しまさ（二三）は本年三月生れの長女はつ子を背負ひ去十一月九日午後九時頃家出したる儘行衛不明となりしが家人に引渡されたり屍體は六日其の屍體は約一箇月を經過したるを以て十二月六日午後五時半頃龍山元町四丁目下の

△漢江岸にて

はつ子を背負ひたる儘[illegible]屍體發見[illegible]の引渡しを受けたり家人は[illegible]出張[illegible]右屍體は約一箇月を經過したるも確かならざる[illegible]を背負ひゐたるを[illegible]仙の子守服にてはつ子を背負ひたりしまさの實父は元京城にて民團議長なども勤めしことある退役陸軍工兵中佐海津三雄氏なり因に母子の葬儀は七日營まるべしと

◎早大校友忘年會

早稻田大學京城校友會にては八日午後六時より南山町梅の家（千代本）にて忘年會開催の由今回は各別に通知狀を發せざるも本年最終の會合にみならず新名簿調製の必要上成るべく多數の出席を希望すと申込は八日午前中に梅の家に申込まれたしと尙ほ會費は三圓也

◎猩紅熱

京城南山町一丁目[illegible]に於て[illegible]猩紅熱[illegible]

四十名に百萬圓の賞與

[illegible]精勤者四十名に[illegible]

工業家に寶が多い

△買物に行く

[illegible]

△一時噂され

しか同人は投身の際雨の袂に約二貫目もある許りの小石を入れたると思はる直ちに水底に沈滯して容易に浮かず長く至らざりしもの也と、しまさ子は美人にて性質温和高等女學校を四年にて半途退學し南大門驛の女事務員を勤務せし事あり

△家出の際は

飛白の給に補色の帶を締め黒地羽二重に赤模樣入の前掛けをなし銘仙の子守服にて…

讀者文藝

▽謎「鋳とかけて」

將棋の駒と解く、心は突いて（鐵の）鳴らす（一等）

[illegible]

八雲琴（七）

（淪落の女の末路）

いさ子は顏を埋めて泣いた實際彼女はAを捨てたのではなかつたAの思ひにも增してAを戀ひ慕ふ心の中では泣かぬ日とてはなかつた、そして何時迄もAの成業を待つ氣で居た然し四圍の事情は平隆に嫁すべく止む無くされていさ子の强情を決して許さなかつた

◆結婚後は…彼女は…

なかつた彼女が二年前に比べて大足には冷たい露がポタリと落ちた、彼女は身を震はして月下に泣いた…お目にかゝつてお詫がしたい……ア、たつた一目るに違ひない……ア、たつた一目もやり度い位ゐ積つて居らつしやるだろう乾度妾の顏を見て殺してたA樣はどんなにして居らつしやつて死に度い……食堂から踊られれてもみたいそしてあのお手に掛もしたいお心のいゝる迄散々打た

[illegible]

讀者文藝課題及募集規定

商況

京城有價證券現物特電

公債直取引

深川正米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◎綿糸布不勢

九十錢 綿布三錢九圓

◎石油界の其後

◎正米と限先

協安價格の引下斷行

荷買附米の著

◎製粉は混沌

錢以上著値四圓十

生魚市場

天井一頓挫

保難

日米チリ安

仁川期米

△七日前場保合

大阪天候晴

小賣值

東京二十二圓十二錢

二十三圓十二錢

東京五十七錢

兵庫十二錢

◎南大門廻米

下關相場

◎當時先限買

啓蒙

◎方に又復

仁川正米

仁川十錢高氣配

多少高氣配

釜山穀物（六日）

市場雜觀

△昨年との比較

北濱たより

△大株の成績

△郵船株

仁川取引所

七日の二月限

[illegible]

確實迅速 マ 廣澤正次郎

大阪期米

天氣

曇り但小雪

吉林問題解決

孟督軍居据り

吉林省獨立問題は既報の如く解決をしたるが如く或は未だ解決を告げざる如く曖昧の裡に在りたるが這般孟吉長鎭守使及び郭吉林省長の兩人相携へて晋京となり、北京中馮總統を始め内閣其の他各方面の重要なる人物と會見となり種々交渉を重ねつゝありたる折しも段内閣の瓦壊となり次で王内閣の出現確定を見るに至り要路と種事の打合せを遂げ今回兩氏の任務を了ることゝなりたるが郭省長と同道上京せる孟督軍の語る處によれば吾々始め前途を如何に落著すべきや杞憂に堪へざりしが今回愈々孟氏にして自ら辭任を申出ざる限り中央より更任せず現在の儘留任せしむる事に決定せるを以て孟氏は吉林督軍として變する事なき事に確定せりと、茲に於て久しく物議の種として内外人の視聽をひける吉省獨立問題も愈々無事解決を告げ孟氏の位置は安全を保ち得る事となれり、尤も裴氏及び郭氏の歸途奉天に立寄り作霖氏と懇談せるは一時吉奉省境に兵を備へたりとていたく張氏の憤怒を招ける事もありたるより孟氏居据りとなりたる今日双方融和の必要ありとて之れが感情融和の爲に立寄りたるものなりと（長春）

安東貯金增資

安東貯金銀行は創立後未だ多くの年處を經たるにはあらざれども營業成績豫期以上に良好にて前途の發展愈々確實なるべき見込確立せしを以て有力株主間には增資の議が進捗しつゝありしが愈々內部の協定纏りたるを以て來る八日臨時株主總會を召集し現在資本金全部の拂込みなすべく決議し明年一月二十日定時株主總會の席上に於て初めて增資案を附議し二月中には增資株金の拂込を結了すべき方針の下に準備著々進捗しつゝあり而して今回の增資株は安東は勿論附近關係各地及び內地方面より出資希望者尠なからざるも現在重役の方針としては先づ安東在住者の希望を充たしたる上にて關係附近各地より漸次內地方面の資本家に及ぼすべき計畫なりと因に同行の現在の資本金は十萬圓にして拂込額は四分一即ち二萬五千圓なるが來る八日の臨時總會に於て殘額七萬五千圓の拂込決議をなし直ちに拂込を結了すべく而して增資金は百萬圓とし是れ又四分の一拂込にて營業開始の豫定なりと（安東）

長春の燐寸界

燐寸界は經濟界の沈靜及び氣候遲延等種々な原因の爲一時市況沈靜の姿に在りし長春市場燐寸界は其の後需用期の追り來ると一方海運界船腹不足の結果は內地製品の滿洲輸入僅少となれる一方茲兩三日來の寒氣は河川凍結し內地との交通も自由となり來れるより例の馬車往來頻繁となり來り他の雜貨類の出廻りも漸く起るに至り[illegible]奧地向積出しの品[illegible]各製造工場に於ても[illegible]製品準備に急がしく[illegible]從來數日以前迄は長春市價一箱七圓五十錢を唱へ居たるに昨今市價も追々高く上げ來れる傾向あり市況如斯なるが故に製造者側に於ても先を見越目下大いに當遣りつゝあるものゝ如し（長春）

銀相場の騰貴及び地代等何分にも如上の高値なる中に加ふるに本村の騰貴より箱代も一箱五錢位を寄せられ之に一個（四箱八十錢）の運賃及び關稅を徴せられ居れば昨今は卸方の利益あまり面白からざるも本月中旬後に至らば一個四圓を下り餘程質好くなるべしと想像され居れども今年は內地相場の張ること〻貨物の延著頻りなる上に支那人にとりては平年より格安の價あれば追々好況に赴くべしと（長春）

支那向蜜柑

昨年の倍値

本年は産地に於て走り物少なかりしため長春を中心として吉林一帶に於ける蜜柑の需要はあまり好からざりしも漸く大物の出始めたる昨今は紀州物一梱四圓三十錢前後に下りたるも何分産地の出來高が昨年に比して殆んど五割強の減作なれば急に價格を引下る由もなく從つて實行に於ても餘程減作は産地居れり、されど現今の減作は産地の季候不順のため一般に晩れ居る盛あり愈々收穫最後に至らば例年ぐらゐの出來高を見るべし、されば月頃に至らば著荷の不足はなかるべしと想像され居り、當地に於ける支那向蜜柑專門たる南滿洋行の長春支店にも現在千五百梱程の在庫品あり品種は紀州物、甲賀郡、伊都郡を主として其崎物、鶴閣物等も少々は含まれ居るも高値の有田物は支那向きには上等過ぐる次第

忠南の漁場

富なる魚介類　漁村設置の計畫

忠清南道の海岸線は雜山の沿岸の道界より牙山灣に到る間約五百海里あり、中には理想的の漁場と見るべきもの甚だ多く、而かるも未だ根本的の調査を遂げたるもの少なかりし爲め先年來總督府に技師派遣方を申請中なりしも其の筋の運びに到らざりしが先々月中より庵原技師の出張を仰ぎ約一個月を以て大體の調査を終りたるが

▲其の結果 は頗る有望なる事を發見したり、魚族は每年五六月の交鯛島附近より忠清南道の沿岸を傳うて黃海道方面に游弋するものゝ甚だ多く赤淺灣に於ては牡蠣、鮑、淺鯏、蟶等の生殖分布甚だ廣く相當の保護と蕃殖を圖るに於ては將來の富源は蓋し無盡藏なるべし殊に鯛延繩等の餌に用ゆる手長章魚、ゴカイ、シャコ等の漁獲は最も注目すべきものにして忠南沿岸の漁業を發達せしむるに缺くべからざるものとす從來本道に於ては斯くの如き水產物の豐庫あるに拘はらず

▲何等設備 の見るべきものなかりし爲め他道の漁業者は勿論遠く長崎、山口、愛媛其他の遠洋漁業者は每年五六月の盛漁期に入れば數十百艘の漁舟隊をなして蝟集し來り掠に漁獲し來りたるものにして其の水產物の多くは群山、仁川等に輸出せられ、徒らに他道の名を爲さしめたるの憾なきを得ず、茲に於てか本道に於ては庵原技師の報告書を基礎として魚族の分布狀況を汎く[illegible]同時に[illegible]の良港を相し

▲一大漁村 を作り傍ら淺海の埋地を埋め立て水田を作り[illegible]の計畫中にあり、叉[illegible]に於ける[illegible]の漁業の如きは[illegible]して支那方面へ輸出を計畫せんか、猶ほ安眠島の如きは四時蒼々たる常綠樹林あり、本を伐り出すの[illegible]叉同島には鹿の放牧[illegible]の嶽を計るも妙なるべしと思惟す[illegible]道沿岸線の[illegible]は是より百尺竿頭更に一歩を進むるものあらん（完）

鴨江造船會社

創立總會は九日安東公會堂に於て

既報の如く鴨綠江造船株式會社は創立事務大に進捗したるを以て愈來る九日安東公會堂に於て會社設立の總會を開催し以て直ちに營業開始の運びとなすべく藤田創立委員長は二日午後來安、目下其の準備に忙殺されつゝあり而して本會社は創立後本社及び小規模の工場を安東に置き支店を義州に設置し更らに大規模の工場は中の島に設置すべく既に決定し居れり、又機關器具類を要する場合は全部滿鐵「鐵」場より供給を受くべく既に兩者の間に圓滿なる協定を終り居れりと、一日藤田委

[illegible]社は從來の[illegible]記者に語つて曰く[illegible]社は會社として[illegible]のものなれども漸次鐵道の統一、[illegible]關係は密接の度を加へ來れり此の時に際し[illegible]滿洲地の[illegible]本社の[illegible]を見るに至らんとするは此の趨勢を助成するものなり[illegible]は頗る欣快に堪へざる[illegible]の不計畫に對して[illegible]の寄せられたる好意は[illegible]能はざるものあり此の好意は[illegible]兩者の結合關係を密接ならしむる政策として現はれ來るべければ其の實現の一日も速かならん事を望んで已まずと云々

京の冬

◆何と云つても京の情調は四條鴨川を中心に擴がつて行くやうに思はれる、往來の男も女もそれぞれ京らしく細そりと優しい、派出な御召のコートの脊に籍を負うて居る樣な帶の格好の引締つた他の行き違ふ舞妓、縞の羽織に縞の著物綿珍の角帶時計紐に翡翠在の小附けゴム雪駄鳥打帽の若旦那、これらの人々が冬から春へかけて祇園に幾多の情話を作るのであるまだ〳〵京は何處かにゆつたりした處がある、師走の空に丁稚小僧が諸勘定を論つて歩くのは恐らく京の外にあるまい「錢湯に詣きく夜やおぼろ月」といつぞやの春吟じた事があるがそれにもまして京の冬は沈著いた靜かなものである。

◆大阪から京へ入ると僅か十三里を隔てゝこんなに氣分の違つたものかと思ふほどゆつたりする、京の女は今々と人が戀しくなる、京の女は今では實際に美しくはない、情緒も薄い、が只沁み透るやうな情緒が可憐な氣分、これが他郷人の後ろ髮を曳いて離さないのである。

◆高臺寺から眞葛ケ原の初冬は落葉に風情を見せ、知恩院の晩鐘、粟田口の夕時雨、三條街道の暮れの煙り、廚重の給になりそうな風致

◆泰平閣崎は文展に賑ふて女の鑑賞家が我勝ちに著飾つて見物に行くそれも京らしく北山は早くも木枯しの音に埋もれ、宇治嵐山は風雅の客の遠のしに適し、電車の軌る音も寂しく哀愁を誘ふ、こうした秋から冬へかけての幽寂閑雅な情調は京の生命である、大阪へ歸つても四條橋畔から東山一帶の風物は絶わず夢に入つて懷しく感ずるのである。

◆京の冬の街を歩くとらゐ我等煙の大阪の人の渦の中に喘いでゐる身には慰籍を感ずるものはない、京の冬、靜かな沈著たものゝ象徵である。（□□生）

白山黑水

▲奉天郵便局で去る一日の朝から賣り出された勸業債券はものゝ三十分も經たぬ間に百通あまりが飛ぶやうに賣れた▲爲替係りはヤレ〳〵早く方付いたもの哉世間の人の事務も借金も總て此の流で方付けて貰へると部合がよいが………と感心の態▲郵便局といへば滿洲の今年は世間の[illegible]外の好景氣で配達人が大拂底[illegible]局では[illegible]任で六十八錢の給料[illegible]一箇月五十錢を[illegible]

▲[illegible]大郵便局では[illegible]正月を控へて頭痛の態である世間の人も配達夫には同情して欲しい▲それに配達の遲れる原因は第一常に新手の立替つて地理に不馴れなのとまた家の番地が揃はぬこと[illegible]

露種甜菜試作

平南道種苗場にては過般小原農商工部長官哈爾賓出張の際持歸れる露國種甜菜種の試作を行ひたるが其成績に依れば試作植付五月三十一日收穫十一月十五日にて供作根數は八個の數量は一、一七〇瓦一個平均量一四六、二五なり合糖歩合は汁液中一四％九六根中一四％二一なるが播種期の遲かりし割合に含糖量多きも根の發育は播種遲かりし影響を受け發育不充分にして充分なる收量を算し能はざりしも明年度に於ては播種期を早め試作する由なり尚今回の試作に徵し露國甜菜栽培には本道地方の氣候風土最も適し居るを認めたりと

北慶蠶種製造額

大正六年に於ける慶北蠶業取締所調査に據る慶尚北道蠶種製造商は總數七萬三千二百六枚にして之を春夏秋の各期に區分すれば春蠶五萬八千七百五十二枚夏蠶五十二枚秋蠶に於て一萬四千四百二枚なり

吉林製材開始期

（安東）鴨綠江製材會社吉林分工場は吉林東大灘に於て家屋及び機械の準備中なりしが既に竣成したるを以て愈々十日より製材開始の豫定なり

忘機吟社例會

忘機吟社は十二月九日（日曜）午後一時より大和町三丁目曹谿寺に於て忘年會を兼ね例會を開催する由にて兼題は「歳暮所感」「祭詩」なりと

大連より

◎鮮銀行の滿洲金券發行統一も正金銀行との間に無事授受を了し愈々本月五日を以て授受されることゝなつた、▲大連正金支店より同鮮銀支店に引繼いだ正金金券の發行金券は四百五十萬圓であつた之れが回收は主として大連に於て行はるべく正金支店にて回收した分は鮮銀支店に持參して鮮銀の兌換紙幣と引換へる事に成つて居る、▲一般銀行より云へば之れにて事務の整一を行ひ鮮銀行として其の本來の面目を發揮し滿洲特產物其他日支貿易の發展の爲め力を專にする事が能きる

◎鮮銀支店では回收した正金金券は一括して京城本店に送致する事に成つて居る

◎關東都督府通信管理局ではハルピン及び長春に於て露國と電話接續の計畫中であつたが露國の內亂の爲め其の運びに至らず延期された

◎其電話交換に當らしむる爲に京城高等普通學校の同校長の推薦で同校の卒業生四人を採用して居る

◎これは朝鮮人は外國語に巧であるからと云ふので採用後大連に於て露語を練習させて居るが露語は難しいと云つて居るさうだ

◎朝鮮人は日本語を巧みにする事は言葉の系統が同一であるのと自國語として苦心して習つて居るのであると云つて何んでも彼でも外國語が巧みで我々が日本語に熱心して居る事を目して外國語が巧みだと云ふのは怪しからぬと或る朝鮮人は憤慨して居た（ある城生）

演藝案内

大正館　電話八七三　[illegible]

黃金館　電話二三六七　[illegible]

有樂館　[illegible]

現代式　職業　利益確實・規則書進呈・代理店募集　京城府東本願寺前　都護謨會社

てんかん　廣告　病で永年の病も自宅で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れば詳しい本を無代進呈す　名古屋市南小川町一　救世館

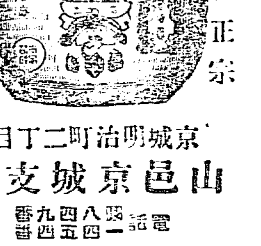
胃腸病　内科　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一二三七　九二〇九番

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢三厘　壹錢以上何程ニテモ御預申候　株式會社長崎貯蓄銀行代理店　株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町　電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八一四番　同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番　諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

内科　小兒科　京城府明治町二丁目（本町江戸川前より入る）電話三七八番　入院隨意　中島醫院　院主　中島貞信

京城電氣株式會社製　瓦斯　スクーコ　京城府旭町一丁目　横山屋商店　電話三二五番　一手販賣　京城府旭町一丁目　戸澤商店　電話九九四番　▲地方御注文は迅速に出荷可仕候

募集　勸業債券月賦販賣代理店主・地方駐在外務員　大阪東區谷町二天滿橋南詰　振替口座大阪三五九九六番　關西信託月報社



比較は最良の撰擇法なり!!　サクラ正宗　サクラ正宗　京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話八四九一四五　振替京城五七番

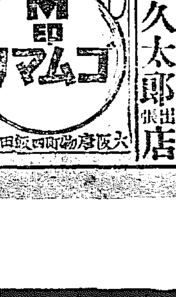
電話一八番　二六〇〇番　京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　酒井婦人病院　院長　酒井一郎

▲寒さとトンビ▲　一特長トンビ　金參拾九圓也　一甲同　金參拾六圓也　一乙同　金參拾圓也　一女コート（頭巾付一割增）特價金拾九圓也　一行燈袴　特價金九圓也　◎純毛にして色合は新流行品　◎世間有りふれたる内地製品にあらず　◎純英國製にしてシワノヨラヌ事を保證す　但しコート袴共五拾枚限り右特價發賣仕候　京城大和町二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

遺言に依り京城醫專門學校に於て解剖に附し來る九日（日曜）午後四時長沙洞妙心寺に於て葬儀執行仕候　拜啓生存中は御高誼を辱し本日午前　奉謝候　滅仕候間乍略儀御暇乞申上候　敬具　大正六年十二月六日　工藤忠輔　兄　工藤武城　弟　工藤重雄

朝鮮名物　金剛飴　京城本町　電話二七五番　龜屋

下落品　正月の御衣裳要價　黑羽二重紋付　自十五圓至二十五圓　仙臺平袴地　自十二圓至二十八圓　色縮緬石持　自十三圓至二十一圓　高貴織　自十一圓至二十五圓　龍山元町　植西呉服店　電話四二八番



印鑑紛失廣告　太郎　右は從來弊店にて使用致候處去る十一月三十日午後四時朝鮮銀行より弊店迄の途中に於て紛失候に付御無效と相成候段謹告仕候也　大正六年十二月　京城南米倉町八十八番地　齋藤久太郎出張店

公告　株式會社山瀨商業株式會社[illegible]株主總會に於て日本[illegible]拾參日解散シタリ依テ[illegible]

約束手形紛失廣告　一額面金壹千六百四拾圓五拾錢　一振出人　[illegible]　一支拂地　京城　[illegible]　右之通り紛失に付無效とす　大正六年十二月　京城鍾路二丁目　[illegible]

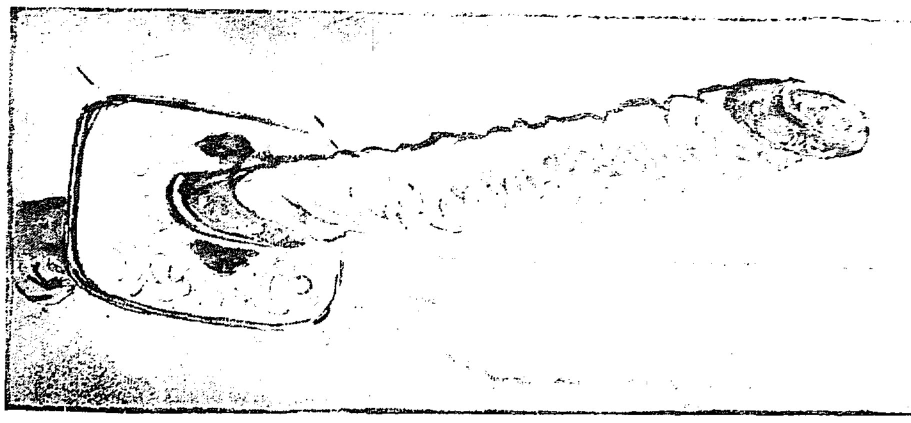
汽車 京義線(南行)(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京元線 京仁線

左甚五郎

第百六席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

本阿彌三郎兵衛が鑑定をした處が助廣長光に相違なき故是を上砥にかけて研上げまするに、夏猶寒き氷の如き一刀、銘刀と云へば正宗に限る樣に申されますが、或る説に正宗といふ刀は無いといふ、太閤秀吉公が石田長束に申付けて正宗といふ刀の名を拵へたものだといふ、最も正宗にも穏々ある、大和に達磨正宗、備前に一文字正宗、越前に下坂正宗などいふ其の外櫻正宗、銀釜正宗、又は讀替正宗などいふのもある、是は餘事で恐入りますが、正宗が無いとして見ると備前長光を以て天下の一品といたします、實價にすると八百兩の價値はございます、此のことを聞いて紀州家より是非此の刀を求めたいと申し入れました故、本阿彌三郎兵衛道具屋金兵衛に申聞けまして八百兩にて紀州家へ納めることになりました、金兵衛は右の金子を持つて桐生へ立ち歸つて參り 金『ヘエ只今戻りました 吉『オー金兵衛さん御苦勞でした、乃であの刀は何うなりました 金『本阿彌先生に鑑定を願つた處、助廣長光の刀だと云ふので、目貫緣頭何れも結構な物、本阿彌先生の骨折で紀州家へ八百兩で納めました 吉『それは大したことで 九助此處へ來な、あの刀が八百兩になつたとよ』と聞いて九助はウーンと眼を瞪した、手數のかゝつた男だ、やう／＼に息を吹き返し 九『まるではア夢の樣でござんす、是皆貴下方のお影で、何ともお禮の申さう樣もありません、それに就て彼奴は太い野郎でございます 金『何が太い、是程骨を折ても部割を寄來せとは云はねエ 九『マア お前樣のお前に天から授つたのだ、此の金を持つて國へ歸り田地田畑を受戻し親の家を立なさい 九『ハイ有難うございます 吉『此の金を亦取られる樣なことがあつては叶けないから俺の方から送つて遣う 九『左樣なら五百兩送つて下さいまし、殘り三百兩は私が持つて參ります 吉『大丈夫かね 九『今度は取られません 吉『氣を付けて行きなさるが宜い』 九助は再び主人吉左衛門に暇を貰つて桐生を出立いたし仲仙道筋へ出で追分まで來て彼へた 九『待てよ、泥棒から貰つた刀が八百兩になつた、是を渡す持つて歸つては何んのことは無い泥棒の上前を取るやうだ、それでは天道に濟ねね、殊に泥棒の內儀さんには助けられたことがある故、此の金を持つて行つて泥棒に遣らう、それが宜い』と思ひました故九助は道を跡へ取つて返し 九『何でも此邊であつたあゝ此處だ／＼此道を左りへ行ねねで右へ行たからあんな處へ行たのだ然云へば此の石に見覺があると右へ曲り段々進つて參りましたが、一度つた道は覺があります五里にもと來たかと思ふと向うに見ゐる一軒の家 九『あゝあすこの家だ、彼家に違いは無い』と門口へ參つて家の中を覗き込む、何うやら家內も寂として居ります、積惡の報いか主人は去年より病氣にかゝつて手足が利かなくなりまして打臥したきりウン／＼呻吟て居る、女房のおふみは枕頭にあつて看護をいたして居る、御免なさいと入つて參りましたのは彼の九助でございます。



牛乳 衛戍病院 朝鮮ホテル 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

妾しや木村屋 ぬしや山邑よ 甘黨夫婦の新世帯 (京城明治町 電二八七)

東洋捕鯨株式會社特約販賣店 鯨問屋 香月商店 京城明治町二丁目

十二月九日 九星
舊十月廿五日 乙巳
本命四祿 開 佛滅

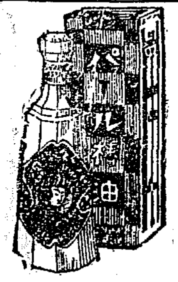
▲四祿● 部殘化し話の事有り新事と合北方は吉將和睦▲五黄● たでられ迷惑の事有り新事手控へ事は吉御散財を防がるべし▲六白● 萬惡半分の日なれども新事控目の方吉其事惱を抗ろは妨なし▲七赤● 縛され安き日新事手控搭事は吉女子は一層用心の事▲八白● 一寸氣に障はる事有り新事手控へ事は吉又事なる可まろべし▲九紫● 大利の日轉居開業入學名弘求職製造婚禮大なる金融等萬吉▲一白● 好運の日轉居旅行開業名弘探偵婚禮大なる物に勝の日▲二黒● 請込損の事有り日新事手控其事は吉保證其書等を禁す▲三碧● 諸願成就の日轉居開業等皆並で吉女子の婚約を結ぶに妙也待人來る

自働車運轉手

自働車!!自働車界は益々有望其運轉手と雖も月收六七十圓多きは百圓以上に達す(海外二百弗)茲に本校は校內生及校外生の二科を設け及修繕製作技師の養成と共に自働車並に附屬品の鑑識質買等事業的知識をも短期に蘊奧を究めしむ且本校は內外の自働車界に密接の聯絡を有し既に多數の卒業生を隨所に成功せしめたり徒手空拳の士不安の職業にある者子弟の幸福を思ふ父兄等は躊躇なく此機關と此職業を撰定し門を開け詳細は會則を申込まれよ
▲校內生 新學期一月六日開始す
▲簡易科二ケ月、本科六ケ月卒業
▲校外生 何人も隨時入學許可す
東京銀座 南紺屋町 自動車學校

月やく
月やくさまり月經不順の爲め何となく工合惡く心配の方遠慮なく流經する妙劑あり三錢切手添て申込あれ人にお知らせず
東京市四谷信濃町停留場前 森田屋

パール



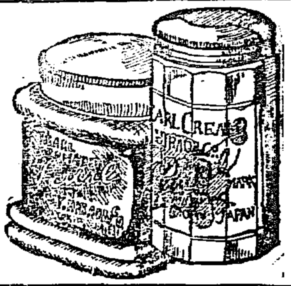
パール椿油

礦物を加合せず化粧化學を應用し香氣馥郁として絕對發毛に適したる純植物製……パール椿油

本品需要の激增は數十年來愛用諸子の御同情に依ると同時に平尾パールが如何に品質の改善に腐心苦心せるかを證明するに足る

日本內地は勿論海外各地に巨多の愛用者を有し昨今殊に海外の輸出多大に激增し各所より山なす注文

パール煉香油
パールポマード



發賣元 平尾パール 東京
代理店 平尾レート 大阪

大日本優等清酒

ハクツル

品質純良
衛生無害

釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四三五番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、批曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 電話二五六三番 振替口座京城九七〇四番

醫化學器械一式
藥種賣藥卸商
(K)
仁川本町 北島藥店 電話三三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

明治大正文學界の飛將軍 卅年間心血結晶の傑作集

蘇峰德富猪一郎監修 (民友社發行)

愛山文集

菊版千四百六十頁 クロース上製 定價金五圓 特價金四圓 郵稅廿四錢 ◇特價申込期限十二月末日迄◇

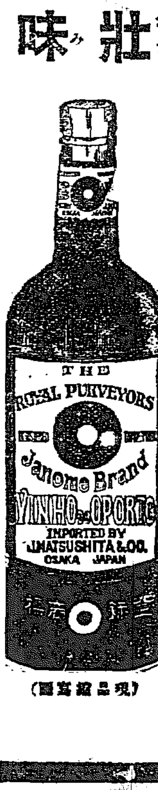
山路愛山氏は明治大正文壇に於ける飛將軍の隨一人也。氏の文、世間既に定評あり、而して其興味の多方面なる、其學識の該博にして其觀察の奇警なる、何人ご雖も驚嘆せざることなし。其三十年間の文壇的生涯に於ける幾多の遺作は、等身の字も未だ盡さずるも、不幸大志を齎らして長逝すと雖も、其一代の文運に貢献寄與したるもの、何ぞ鮮少なりと謂ふ可けんや、本書は氏が一生の遺作中に就き、其精を拔き其粹を萃め、之を五期に區劃して編纂せるものにして、明治二十三年に執筆して『女學雜誌』に掲載せる『英雄論』を以て始まり、大正六年三月其死前一日迄稿を續けたる『奠都五十年』の一文を以て終る。其間作る所の史論、人物評論、時事論策、隨筆、紀行等其重なるものは殆ご網羅せざるなく、通編二百有餘章、或は史眼の如きあり、或は天眞小兒に似たるあり、長編短章各々其觀を異にすと雖も、悉く是れ故人が心血の結晶にして其生活の眞を傳たり、洵に天才愛山の名を永遠に記念すべき唯一無二の書といふを憚らず。讀者一本を購ひ天才奮闘の痕を此裡に驗せんことを

發賣所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

滋養強壯 芳香美味

登錄商標

蛇の目印ポートワイン



(現品縮寫圖)

本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血强壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を增し肉を肥し殊に誇るべきは精力を强くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絕好の理想的滋養强壯飲料なり

賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、罐詰、食料品店及藥舖、雜貨店にあり

【類似品あり登錄商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元 洋酒食料品罐詰直輸入商 煉乳家庭藥雜貨出入商
(カ) 大阪市東區高麗橋貳丁目 松下善四郎
電話本局一八五 長一八六 長八二〇 電信略號マツセ 振替口座大阪一六

外の眼藥で効なき人は試みよ!! スグに効力ある目藥……は

登錄商標 直治水

特長 直治水は眼科最新發見の高貴藥を配伍せる最良点眼藥にして裝瓶の際完全なる殺菌防腐を施したれば變敗の惧なく藥効は永く保ち最も安心して使用し得らる。

主効 □トラホーム□やにめ □はやりめ□うみめ □かすみめ□めくさ ・其他眼病諸症に偉効あり

價 新式点眼器付 十錢 廿錢 全國各藥店にあり

本舗 大阪 東京 丹平商會藥房

強くて温い日本一の

衛生經濟を重んぜらるゝ各位 是非一度御試用を乞ふ

東京大傳馬町 (平) 寺田淳平商店
特約販賣御希望の方は御申越次第「營業案內」御呈可申上候

京城日報 第五號

THE KEIJO NIPPO　大正六年十二月八日　第三千六百七十二號（一）（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

八日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

支那漫遊

長江の激浪

蘇峰生

南陽丸は、三千四百噸の巨艦也。巨艦とは長江筋に於ての事也。若し大洋に於ける三萬噸以上にも、比較するを得可き也。

船の九江を離れ、湖口に近き、大孤山を潯陽湖口に眺むる頃より、風浪高くなり、其の小孤山の麓を過ぐる頃は、殆んど烈風となり、甲板上に佇立す可らざるの狀あり。予等が支那從者の如きは、遂ひに船暈の爲めに呻吟せり。予は久振りに安臥の好時間を得、彼を拋うて眠れり。一睡夜に到り、晩餐後又た就床、一睡夜半に到れり。

濁浪排空亦一奇。大孤欲倒小孤欹。封姨鼓吹魚龍舞。正是先生詩就時。

今朝六時前、蕪湖に泊す、午後は南京の下關に著す可し。予等は南京を見物し、鎭江に進き、揚州を見物し、上海に下り。上海に暫時滯在中、蘇州、杭州を見物し、更らに鐵道にて濟南を經、青島に出づる豫定也。果して此通りに、行するを得るや、否やは、未だ知る可らざる也。

蕪湖より南京

（大正六年十一月七日午前七時半南陽丸客室中蕪湖にかけり荷積の拙を眺め聞きつゝ）

南京城壁外の惡旅館より　拜啓。

十一月七日、蕪湖より新米を積込む爲め、南陽丸の開纜は、漸く午前十一時半と相成り、その爲め南京の下關著は、異常の速力を加へたるに拘らず午後四時となれり。此が爲めに豫定の半日を損したるは、餘儀なき次第也。長江の風色は、例によりて妙也。但だ天曇り、氣冷かに、甲板に久しく立し難きを憾むるのみ。岸側の汀樹は、翠色未だ褪せず、荻花、蘆花は白く雪の如く、遠近に點綴する白帆と相接し、茲に長天無際の濁流と反襯して、一種の光景を映出せり。而して處々に纜を爲しつゝあり。船長の話によれば、何時の間に、斯く洲が出で來りしならんと訝りつゝ、近き見れば、豈に料らんや、鬼雁の誦ならんとは、と申す程の事に、冬期中の航海に珍らしからずと。

南京は、予が十二年前の曾遊時に比すれば、更らに再度の變遷を經たり。第一革命の際には、張勳の[illegible]、其の後、革命軍に占領せられ、政府は此處に其基を定めたり。第二革命に際しては、馮國璋に攻略せらる。然も他方より見れば、上海とは蘇、杭兩州を經て、滬寧鐵道の通ずるあり。天津とは、對岸の浦口を經て、津浦鐵道の接續するあり。亦是れ長江に於ける、要衝の地たるを失はざる也。但だ市中荒涼の狀態に、遊客の一瞥にも、容易に看取せらる。

此の如く變化の裡にも、依然青翠を改めざるは、唯だ一の鍾山ある のみ。予は我が領事館に進く途中、竹林と、璦垣とを隔てゝ、遙かに鍾山を眺め、馬車の上より、鍾山を眺めたる時には、何となくなつかしき心地して、恰も舊友に邂したる如く、孤立つ心地せり。

予は今ま夜已に滅して、日光未だ上らざる際、燭光にて此文を綴れり。本日は午前中、南京見物をなし、午後は鎭江に向け出發す可し。

（大正六年十一月八日午前六時十五分）

故宮の廢礎

前書に記したる、予が旅窓の下に、大理石碑は、乾隆御筆と思ひしに、豈に料らんや、永樂十四年の銘ある、永樂帝御製の天妃宮碑ならんとは。されば此宿も、今宮の故趾の一部たりしこと、自ら證明せられたり。

十一月七日の夜は、濃雲低く下り、細雨を豫期したるに、八日の曉に霽れり。是れ實に予等南京見物に取りて、最大快心の一事也。直ちに馬車を驅り、領事館より清野太田氏—同名の兵庫縣知事にあらず、書記生也—を伴ひ、先づ北極閣、雞鳴寺を、麓より概觀し、轉じて孝陵に向ふ。即ち鍾山の陵なるあり。途中一輪車の陸續として、厚三四寸、横五六寸、縱一尺内外の角石を、積み來るに逢ふ。近き見れば、何れも双手に耐ふる舊磚也。乃ち明の宮闕を圍繞したる城壁全部を破壞して、其の一を[illegible]、今[illegible]。往年獨逸人は、此磚一個を五弗に購ひ、若干個を伯林博物館に送りたりと云ふ。何れの磚も、其の面を拭へば、陰刻、若しくは陽刻の文字、歴々として現はれ來る。單に産地名を記するのみならず、種々の文句、或は二行、三行に[illegible]るものあり。今や此の大磚瓦は、昨今製造したる、普通の煉瓦同樣、市場に出でゝ、建築用に供せられつゝあり。如何に故物澤山の國とは云へ、何となく惜しき心地なき能はず。予等は其の廢磚の山の如く堆積したる中を踏み分け、僅かに破磚一個を採拾し、磚一個を購へり。遠路重荷の厄介物たるを厭はざれば也。

（大正六年十一月九日午前八時）

朝鮮古墳の變遷（六）

壙と棺槨（承前）　八木奘三郎

朝鮮の古墳石室は大抵落地平線上に在り、去れば地下に穿ちたる墓壙と同一視す可きや否やは疑問なり。元來壙は死者を葬る爲め一時穿ちたる穴なれば、其葬終ると俱に壙は消滅す可きものなり、然るに石を以て之を圍ひ、永久に其壙を保たんとせしは疑問なり、已に斯る疑問の續出するが上に本來埋葬の意義を沒却する次第なれば石室を壙とする說は何等か其間に理由なくては成立せざる譯なり、唯だ單純なる土に埋むるを好まずして石室を造り、而も之を壙と稱せりと云ふ說は未だ世人を首肯せしむること能はず、又支那の古書を見るに彼の原葬の初めを成せしと云ふ吳王闔閭の記事を初として石室を石槨と稱せし例は多く存すれども、未だ石壙の大なるを記せし例は餘り聞かざる所なり、而して石室を石壙と錄せし文は概して唐宋以後に初り、漢魏六朝時代は皆な石槨と書し、且つ其大さも日鮮の分と略ぼ相同じき[illegible]を傳ふ、故に後世の記事は假令ひ壙の字面あるも、是等は當に古意に反するのみならず、又今日の如く實地に暗き見解なれば採るに足らず。

以上記するが如く、壙は埋葬と共に[illegible]を疑ふと云ふは大なる[illegible]の存せざる限りは容易に信用すること能はず、又唐宋後の記事は誤て根據と爲す可からざるを知るに足らん。

次に棺槨の二者を因みに、此ものゝ何たるやは別に說くの要なきも其の右を以てせし類は前條の如く世に議論あり、然れども禮記、吳越春秋、史記、西京雜記、日下の古書を綜合して按ずるに、其物の古き構造の大なる類ありしことは明かにして、右は日鮮の地は高麗と大差なし、勿論朝鮮の石槨は時代の分を除くの外、石槨の大なるもの絕無に近しと雖も、石槨の類は日本と略ぼ同じ、去れば舊來の如く之を石槨と稱して不可なることなく、强て石棺を石槨と稱し、石槨を石壙と呼ぶが如きは其當を得たりと謂ふ可からざるなり、猶世の可否は次の横穴說と對照して判斷せらる可し。

日報詩壇

○郊外見殘菊　直井　默樓

素是丹心許此身。天涯爲客晩沈淪。東籬郊外見殘菊。恰起去年憶故人。

評曰有敘胸臆筆意條暢

○神仙媼（限韻）　渡邊　凌雪

神仙媼醉覆寒身。恰是如斯白萬緡。駕鶴楊州何足羨。醉中對坐不憂貧。

評曰又奇想、

○湖邊閑眺（限韻）　成田　魯石

晴湖一鏡蘸秋光。鷗鷺忘機沙作洲。枯荻戰邊風瑟瑟。輕煙籠處夕蒼蒼。絕無獵歸驚閑夢。只有漁翁伴睡鴛。澹澹恬恬消日月。笑它孤雁去來忙。

評曰遠神幽想、結處殊推妙、

どうして

布施生譯（七）

其處へ谷女は人柄の善さそうな娘をつれて歸つてきた。『これは花子と申すのでございます。惡美ちやんとは昵懇でございましてあの娘の事はよく承知致して居りますから何卒この娘にお聞き遊ばして下さいまし。此娘にはもうよう申し含めてございますから』谷女はもう從前に見ぬ程に沈着てゐた。そうし阪採偵長と目交しながらね『貴方、あなたは先達て自活すると云ふ遺書を殘して家出をなすつた娘御樣をお捜なすつて被在るのでございますわね』『左樣、探偵』透す調子を合せて『左樣、實は姪が家出を致しまして』[illegible]

[illegible]

頭は人に聞ねるのを憚るやうに低かつた、そうかと思ふと突然力を籠めて『惡美ちやんは太つた方がやあでございませんでした、私見ますがございますかね—』言ひかけて不圖自分ながらに驚いた風で俄に言葉を斷つてしまつた。そして手眞似で花子を彼方へ行かせやうとしたが阪は態とらしくなくそれを止めて『一寸待つて下さい、惡美子さんとやらは髮も眼も黑かつたと云ふお話でしたね、貴女のより黑いのですか』『花子は一寸頭に手をやつた』『花子は』[illegible]つてそれに氣がつくとはつと赤くなり『御免遊ばして下さいまし』手拭を冠つたまゝで居りまして』『なあに、一寸貴女のお髮の毛を見せて下さいませんか』言はれて花子は少し嬌羞ながら姉樣冠りの手拭を取つた『成程、いや美事なものですね、時に外の方は？』まだ外にも御朋輩が被在るんでしやう』『はい、六人居ります』谷女が代つて返事した『其方のお顔の色はどうですな、惡美子さんのに比べて』『大抵同じ位でございますわ』國柄け其問答を聞きながら何だ愚にもつかない不平であつたが探偵長一人は、御機嫌でいつも滿足した時の癖の兩手を胸に組合せた、そして目交で花子を去らせた。『さあ之から中庭へ出てみやう』と探偵長が言ふ途端に部屋の戶がすつと開いて、立派な人品の紳士が悠然と這入つてきた。それが主人の鋭氏である事は一目みて誰にも分かつた。鋭氏は散步に出る所らしく一寸着物を着換へて帽子を胸の所に持つてゐる、氏の姿を見たこの部屋に居合せた者は何れも一寸立竦んだ。谷女は白髮の根元まで眞赤になつた。

見た所顔も姿も至極上品な武烈氏は自分の心には富みながら何處や[illegible]

[illegible]

ね』と話しかけた。武烈氏は夢心地から俄に呼覺された人のやうにはつと顔を擧げた。そして探偵長の無邪氣な笑顔を見ると自分も釣られて一寸頭を下げたがしかしそれは少しも精神の籠らぬものであつた。阪は平氣なもので『私は阪六郎と申しまして[illegible]今朝程御當家のお召使が一人變な具合に失踪致しましたそうで、如何はそれで署の者をつれまして參りました』

[illegible]

新年詞壇募集

漢詩『海邊松』『戊午新年』（五言七言 韻隨意）

短歌『海邊松』（一人三首以內）

俳句『騎初』（一人五句以內）

（注意）締切十二月十五日、用紙半紙型京城日報社編輯局新年詞壇係に宛て投稿の事

法人登記公告

沙里院地方金融組合登記事項中左記ノ通リ變更登記ス

[illegible]

右大正六年拾貳月參日登記

海州地方法院瑞興支廳

購買入札

一、[illegible]

詳細ハ本府官報ニ依リ

朝鮮總督府遞信局

購買入札

一、大豆　四百石

一、小豆　四百石

詳細ハ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

大正六年十二月七日

朝鮮總督府

舊龍山有志聯合大賣出し

十二月三日より三十日まで

御買上金壹圓毎に景品券一枚

▲景品引換所　元町一丁目郵便局

▲引換時間　當日より三十一日迄

景品は白米、鏡臺、乾物、其他世帶道具一切にて空籤一本もなし

有志聯合店（いろは順）

今福履物店

富井吳服店　電話三〇八番

東山紙文具店　電話二七番

金子古着店　電話一〇五番

加來履物店　電話三二番

川本古着店　電話五六番

關西商會　電話三九番

吉富菓子店　電話四五二番

横山和洋雜貨店

長島履物店

中谷履物店

浦野食料雜貨店

山口洋品店　電話二六五番

大和屋小間物雜貨店　電話三五番

八塚古着店

松屋食料雜貨店　電話六六一番

こまや吳服店　電話四二八番

小山陶器店　電話四二番

網田和洋雜貨店　電話五〇六番

菊地わた店

柴田金物店

景品付大賣出し

賣出區域　京城　仁川市中

賣出期限　十二月八日より卅日迄

景品引換期限　自一月十一日より至一月二十日まで

景品

一等	商品切手（廿圓）（三越、明治屋、其他百貨店）一個	一四本
二等	腕卷銀時計一個	二八本
三等	事務用萬年筆一本	二八本
四等	鷹一ボール	七〇〇本
五等	百二圓大一包	一〇四三〇本
六等	郵便はがき一枚	三〇八〇〇本

合計四萬二千本

からくじなし

賣出煙草

ウエルス　ダリヤ　壹ボールニ付　景品券一枚

ヘルメット　カブト　百圓（大）　千圓　百圓（丸）　壹ボールニ付　景品券二枚

景品引換所

東亞煙草株式會社　京城明治町二丁目

仁川官煙賣捌組合　仁川新町

大日本政府登錄商標

"PINE"

日の中でも優秀なる品

優美なる函入調製

▲本年中定價の壹割引

パイン万年筆

▲歲暮賣出▼

最高尙なる年末年始の御贈答品

特許既に防破裝置附

繰出式高等萬年筆	金六圓八十錢
押出式紳士用	金五圓三十錢
インキ止式紳士向	金三圓八十錢
インキ止式婦人用	金四圓九十錢
インキ止式學生向	金三圓八十錢
パイン學生號	金二圓八十錢

不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番

京城日報社代理部

電話三二六・六六〇構內一八番

下關期米

七日後場（氣配り薄なるも各地高と[illegible]）

仁川期米

△當限寄付　二十四圓十七錢

△中限寄付　二十三圓八十七錢

△先限寄付　二十三圓五十二錢

十四錢より[illegible]安き入電に中十一錢より〆盃に落込み先七十三錢より次第に下落ひ結局中〆七錢先六十九錢と持合の裡に打止めたり

仁川大豆取引所

平均値段　一節十九圓七十五錢　二節十九圓七十四錢　三節十九圓七十三錢　四節十九圓七十錢

本紙定價　一部金二錢　一ヶ月金五十錢

發行所　京城太平通一丁目　京城日報社

振替貯金口座京城二〇〇番

○天津會議の眞相

北方派督軍連の決議＝馮總統の態度に不滿を抱く

天津會議の眞相を聞くに去る二日朝曹錕及び張懷芝の兩氏は打ち連れて天津に蹈り折柄來津中なりし安徽、奉天、河南の三省三代表者と數時間に亙りて協議を遂げたるが何れも政府の對南方策に不滿を抱き若し政府が南方派の要求に屈服し舊國會を復活せんか南方は直ちに跋扈し北洋派の全滅を招くやも知れざれば馮總統に宛て詰質的建議を爲し若し採用せられざる時は自營上已むを得ず一致聯合して自由行動を執り軍費を自辨し飽く迄南方と大決戰を爲すに決したり尚ほ今回李純氏が北洋派の同僚を賣りて南方派と結托し講和の成立に努め其の報酬として副總統たらんとするが如きは不信極まるものなれば中央政府と交渉斷絕の場合一致して李純氏を屠るに決し其の結果三日馮總統に宛て直隷、山東、安徽、奉天、河南の五省の名義を以て右の如く打電したり

一、段祺瑞氏を總司令に任じ南方討伐を決行す可し
二、吳州會議の結果と稱する南方要求條件は拒絕す可し
三、開會中の參議員は解散す可からず
四、舊國會は復活せず新國會は選擧法改正の後召集す可し

馮總統は之に對し政府は無定見の講和を爲すものに非ず南方に誠意ありと認めたる時始めて和を講ず可ければ輕擧妄動する勿れと慰撫したるも督軍連は馮總統の態度を優柔不斷なりとし更らに北方各省に打電し大會議を開かん形勢にあり（北京特電）

○廣東軍英船拿捕

廣東軍は汕頭にて英國汽船を拿捕したり（北京電報）

○哈爾賓擾亂說は訛傳

在留支那人の流言蜚語

五日より六日に亙り哈爾賓に擾亂ありたる如く傳へられ穩和派と過激派との衝突戰ありしとの事は事實を誤りたるものにして其の後の情報に依れば露都勞兵會長レーニン氏より哈爾賓の勞兵會長リユワチン氏に對し哈爾賓の全權を勞兵會に引受けよとの電命ありリユチウン氏は五日午後ホルワット將軍を訪問し右に就き協議する處ありしが結局リユウチン氏も東淸鐵道係のホルワット將軍を度外視して事を爲す可からざれば爾今兩者の安協にて事を行はんと決意したるにホルワット將軍は之に對し考慮の要ありとて返答を留保したり其後駐在領事團は此の會見の内容を知らん爲め打揃ひてホルワット將軍を訪問せるに將軍より六日再び勞兵會側と會見して返答す可しとの答を得たるのみにて此の間偶々支那人が流言蜚語を放ち戰爭說傳へられ商店保護の爲めに支那兵の入京を見たる也と云ふ（東京特電）

○最高海軍委員會設置

巴里會議の産物

巴里會議の結果は聯合國最高海軍委員會設置せられたるが此は倫敦に常置して日、英、佛、伊の諸國委員參加し潜航艇に對する共同作戰、封鎖、船舶保護、船舶政策に關する諸問題を議す可し只同會は執行機關に非ず決議機關なれども其の決議は充分參加各國政府の尊重する所となる可しと（巴里電報）

○墺匈國講和準備

墺太利皇帝カール一世は墺匈國議會にて演說し墺匈國陸軍の光榮ある勝利と海軍の名譽に就き說きたる後墺匈國は今や名譽ある講和の爲めに準備する處あり露國の講和交渉が滿足に進行せん事を望むと陳べたり（倫敦電報）

○英軍塹壕一掃さる

マルコアンの南部區域における英軍の塹壕は一掃されたり（伯林電報）

○米對墺宣戰決議

米國議會はウイルソン大統領の對墺宣戰提議に對し大喝采を與へたり上下兩院は聯合會にて十二月五日正午米國と墺太利匈牙利國との間に戰爭狀態を生ずと聲明せる決議案を提出せり（京城電報）

○通運支店新設

內國通運株式會社にては今回大連、奉天、長春、哈爾賓、天津等に支店設置の事となり來る十二日の株主總會に附議す可し（東京特電）

○露國少將通過

露國陸軍少將バクバノフ氏は妻子同伴七日午前十時半長崎へ向け當地を通過せり（京城特電）

○北鮮新兵到著

羅南衛戍の兩聯隊の初年兵一千一百名は六日大捷丸にて淸津七日上陸し雪を冒して羅南へ向へるが第二行は八日出發の筈なり（淸津特電）

○鰊十五萬

十月末より淸津港に於ける鰊漁獲高は十五萬圓に達せり（淸津特電）

○戰時稅法內容

課稅標準如何

戰時利得稅は（一）現行所得稅法第一種及び第三種所得中俸給、給料等大體時局の影響なき所得を除きたる所得が時局發生以前の平均所得に其二割を增加したるものに對し七年度以後に於ける所得の超過したる場合に其所得を戰時の利得とし之に課稅するものと（二）船舶及鑛山等の賣却に依る利得が同樣の超過を來したる時に課稅するものとの二種の場合あり而して第一の所得に屬する戰時利得金の算出は所得稅法に於て所得を決定すると同一の方法に據るものなるが所得稅法の所得決定は所得人より所得額を申告し所得稅調查委員會を經て決定するものにて其標準は大體法人所得に於ては其所有財產賣却金、使用人給與金、重役賞與金等を總收入より控除することゝなり居れるが如く從つて戰時利得稅法に於ける戰時利得は各銀行

▲會社の決算 報告にある益金とは全く其趣きを異にし强いて假定すれば配當金積立金及び後期繰越金を包含するものなるべし又第二の船舶礦山等の戰時利得は從來の標準に依り之を決定し得ざるを以て特別の認定方法を採用す

る由なるが其細目は目下調查中に屬せり（東京）

○增稅實施時期

煙草の値上げは既に實行せるも其他の消費稅及び通信料引上は議會の協贊を要するを以て何れも年度開始の時即ち明年四月より實施せらるべしと（東京）

○會議所の性質を徹底せしめん

京城商業會議所副會頭 白完爀氏談

私は今度出馬する心算では無かつたのでしたが同志から强いて勸められたので遂ひ

▲起つ氣にも 成つた樣な次第で私如き微力者の到底やり切れるものでは無いと思つて居ます殊に副會頭と言ふ樣な重任に就きました以上は一層の奮勵を要することゝ思つて居ますが何分具體的に自分の希望を述べると云ふ樣な腹案も出來て居ません、けれど唯今後は益々內鮮人相提携して我が京城の商工業の發展に資したいとは思つて居ますまだよく商業會議所なるものを

▲利用する事を知つて居ない樣です之等の事は私共から會議所の性質なり其他の事を一般の鮮人に向つて知らせる機會が今後は益々多く起つて來る事と信じて居ます斯くて會議所を自由に且つ最も適當に利用する事が出來る樣になつたならば即ち鮮人の商工業的觀念の向上を來たしたと言ふのでありませう茲に於て乎內鮮人提携して

▲事に當ること 言ふ風に移したならば亦京城商工業の進步繁榮に資する所も尠くなからうと思つて居ます

○移民查定進捗

東拓第八回移民申込者に對する京城支店並に下の關出張所の査定は其後著々進捗し既に六百餘戶に對し承認通知を發したるが遲くも年末迄には其の查定を終るべく多分其承認戶數は七百戶を超過すべし

○京電當期成績

京城電氣會社に於ける當期成績は未だ締過中に付詳細に知り得ざるも電車收入頗る好況にして豫定より一割以上の增收となり又瓦斯電燈收入も相當の成績を舉げつゝあるに付炭價並に用品の騰貴あるも支出の增嵩は免れ難きも收益勘定に於て未曾有の純益を舉げ得べし

○敎員軍隊見學

咸北道にては管內公立小學校長、普通學校長、簡易農學校主任訓導會議を來年一月十六日羅南小學校に於て開催の筈なるが尙此時期を利用して一月十二日より二十日迄九日間羅南步騎砲各聯隊に三日間宛軍隊敎育の實地見學を實施すべく見學員は同者三十五名の豫定にして軍隊の規律秩序服從に關する生活の實際を知らしめ國民敎育上の資料たらしむる目的なりと（淸津）

○全鮮傳染病狀況

總督府衞生課調查に依る大正六年十月中全鮮に於ける傳染病患者發生並に死亡狀況を聞くに左の如し

赤痢發生內地人百二十七名死亡三十八名鮮人發生三十名死亡十五名腸チフス發生內地人百五十五名死亡二十五名朝鮮人發生八十七名死亡十五名パラチフス發生內地人四十四名死亡五名朝鮮人八名死亡なし發疹チフス發生內地人八名死亡なし猩紅熱發生內地人十五名死亡三名朝鮮人發生九名死亡十三名… [illegible]

○木村理事歸京

東上中なりし木村鮮銀理事は七日夜九時南大門驛着の列車にて歸京したるが同行員其他多數の出迎へありたり

○中村精七郎氏通過 門司中村組主中村精七郎氏は七日夜南大門驛通過北行したるが十三日頃入城す可しと

○朝鮮產業界の恩人下村氏の事

山本氏と趙子爵

[illegible]

私が最初山本氏と知合になつたのは先年私が東京に亡命してゐた當時故下村廣畝氏の紹介で始めて逢つたのだが今又此處で山本氏を虎大盡として逢ふ事は全く

◇奇緣奇談と云はねばならぬ、それに付けても昔の事が偲ばれて來て全く今昔の念に胸に浮んで來るのは矢張り私が東京に居る時の事であつた或日故下村氏と私と三人で大いに朝鮮の將來について發展策を講じた其の席上で故下村氏は今の朝鮮の窮狀を助けるには人民の生活を助けねばならぬがそれにしても

◇朝鮮は氣候 から云つても蠶業が一番適してゐるから、僕はこれから朝鮮のために大いに蠶業を興すつもりだと云つた。すると山本氏は朝鮮には虎が多くて人畜を害するそうだから僕は大いに虎を狩つて朝鮮のために盡したいと云はれた、そしてその後下村氏は五六人の朝鮮留學生を養つて蠶業を研究させ歸國後には必ず朝鮮の蠶業界を興隆させる樣にと頼んで

◇旅費迄出して 與れた、そしてその學生等も歸國後大いに新式蠶業を起して從來支那より輸入して使つてゐた黃色絹絲を織つたそれは舊韓國時代に皇帝のお召物になる反物であつたしかるに「好事魔多し」とやらでそこに又讒言が這入つて日本留學生は亡命客と氣脈を通じて陰謀を企むでゐるといふので警戒が非常に嚴しかつた（つゞく）

人事消息

▲岡村澤之助氏（實業家） 七日朝退京
▲石井學吉氏（慶南道技師） 七日夜入京不知火旅館へ
▲林軍醫部長 西鮮各地守備隊軍馬鼻疽等の狀況視察の爲め出張中なりしところ七日夜歸任の筈
▲松永道長官 七日午前平壤へ
▲總督府勞務部長 六日午後仁川より歸京
▲小田東拓理事 六日午後內地へ

○淸會線行（10）

別府生

▽淸津の將來

▲淸津の四大問題中吉會鐵道と港灣改良は尚ほ其の施設に付確と捉むべき材料はないけれど、自餘の日本海横斷航路と咸鏡線鐵道の問題は僅に既に其の曙光を認めてゐる▲乃ち來年度の總督府豫算に咸鏡線敷設費と日本海横斷航路の補助費計上は動かす可らざる事實だからである、唯當局の計畫と淸津の求めつゝある施設との間に幾干の距離を有するかと云ふ事が問題として殘つてゐるのみであらう▲聞く所によれば咸鏡線永興輸城間の鐵道建設費は三千餘萬圓の豫算とし、七年繼續若くは十年繼續として豫算にありと云ひ、又一時に斯く巨大の鐵道費の協贊を議會に求める事は困難だから、之れを年折してあるとも云ふ▲唯、全額が出て居るにせよ、兎に角年折となつてゐるにせよ、淸津の次驛から輸城……淸津の次驛から……南に向つて鐵道の延長を見る事は諸般の關係より見て、今日殆んど疑ふの餘地なしと云つて宜しいやうである▲日本海横斷航路は多年の問題だが、議會さへ無事なれば、明年の四月から多分朝鮮郵船が總督府の命を受け、淸津、敦賀間に二千噸級船二隻を用ひ、月三回宛の定期航海を經營するであらう、此の航路の就航船は三千噸乃至四千噸級船を望みたいが、今日の如く海運界殷賑、船腹不足では、或は求むる方が無理かも知れぬ▲要するに咸北の天地が水產に、木材に鑛物に、甚だ天與の資源に富んでゐるに拘はらず、尚其の開發顯る振はざるは、全く朔邊に位せると、交通の便を缺げるためである▲然し刻々に推移する時勢は淸津港の發展を促して止まない、淸會鐵道の開通は其の交通の漸く完備の緒に就くものである、而して前記四大問題が今後好望に解決して南は日本に、北は北滿に露領に其の商翼を伸張するの機會に逢著するならば、淸津の位置は大に高まり、淸津の市勢は著しく振つて來るであらうと信ぜらるゝ▲咸北に就ても、又淸津に就ても、記者は尚ほ語るべきものを多く有つてゐる、假へば鑑元豆栽培に對する道の方針、淸津の銀行問題、新市街問題等は其の主なるものだが歲末に入り身邊徒らに多忙なため又餘り永くなるから茲で一先づ打切り何れ筆を新にする事としやう（をはり）

百聞百種

▲革命後の露國名士と云へば誰も彼も大抵一度は監獄の飯を食はぬ者はない有樣だ▲是等の諸名士は舊政府時代の官僚共を投げ込んだペトロパウロスキー要塞に今度の政變で又候監禁の憂目を見て居るらしい▲鳥渡其の顏觸れを調べて見ると前外相のミリユーコフ前總司令官アレキシエーフ將軍を始め▲コロニロフ、グレンスキー一方のお歷々だが爰に面白いのは娘子軍の幹部連も亦同樣監禁の運命に陷つて居るとの事である▲娘子軍の捕縛で思ひ出すのは世界初めての女大臣コロンタイ女史だが▲彼女も度々警察の御厄介になつたもので現に去る七月レーニンの走狗となりストックホルムから歸國しやうとした時なども▲芬蘭で召捕られ今度の政變迄は露都のクレストイ監獄に監禁せられて居た▲で露國の名士となるには先づ第一番に監獄の飯を食はねばならぬとは露國名士も亦難い哉▲此頃獨逸では子供は午後四時になると無理やりに寢床に入れて翌朝の十時迄は起きさせてはならぬと云ふ掟がある相だ▲夫れは起きて居ると自然食物を欲しがるからだとの事成程能く考へたものだ

堤川

▲畜產品評會 堤川郡畜產同業組合にては畜產の改良、普及を旨とし郡內一般畜牛飼[illegible]種牡牛二十四頭乾草二十三點あり開會日は市日に相當し居りしかば觀覽者千二百餘名の多數に達し[illegible]二十日競走入札に附する由工事[illegible]

[illegible]增加し目下の校舍にては收容力なき[illegible]を以て[illegible]する事に決し來る[illegible]

[illegible]三十六萬斤に比すれば實に三倍の二百[illegible]斤に達したり之を昨年同期の二百[illegible]落札價格は二十四圓三十三錢の珍價を出現し目先尙ほ高模樣の姿には米印棉商を享けて逐日好報を齎らし頗る有利の商勢を見つゝある

[illegible]驛乘車人員千九百八十名此貨金六百十九圓[illegible]硬貨中白貨八萬五千圓銀貨一萬五[illegible]は莫大の膨脹を見たる模樣なり

小野玄妙先生新著 佛敎美術槪論

我國文華の精粹として中外に誇稱すべき佛敎美術で世を舉げて其研究難を歎ずる久し本書は斯學の爲に半生を捧げる著者が刻苦精勵數年の日子を費して茲に世に出せる劃期的の著作にして凡そ佛敎美術に關する諸般の問題例へば寺塔佛像佛具等を網羅し明確に敍述し苟も佛敎關係の美術工藝を研究せむと欲する人士必讀の名著なり

菊判 定價一圓八十錢 東京小石川原町 丙午出版社 大阪屋號

創業明治十六年

地質、スタイルの新らしき技術の優れたる
富田屋の洋服は
著心地に於て既に愉快です
其上
彼れの營業振と其の價格に誠實の終始一貫せるは尙ほ御客樣の御滿足せらるゝところです

京城大平通
富田屋
電話長七二二 振替京城九〇

謹告
例年の通り
忘年會新年宴會、御正月重詰其他御料理御好に應じ可申候
右不相變御用命御引立被下度候也
京城南山町一丁目三番地
會席御料理 松葉亭
電話二二三五番

弊商會儀今般米國フォード自働車會社と特約を結び左記の定價にて御注文に應ずべく候
▲五人乘自動車 壹千八百圓
▲乘合自動車 貳千百圓
歐洲戰亂の爲め船腹不足に付此際至急御用命の程希望仕候
京城竹添町一丁目
フォード自働車會社特約店
セールフレザー會社
支配人 ダブリユー、スタイルス

宇治茶直接販賣

歲末年始贈答用には宇治茶に限ります 例年に倣ひ御用命を[illegible]
井上六八平 [illegible]

東洋一 流行の魁
御旅行用 靴と鞄

內田靴鞄問屋 東京市芝區[illegible]

最新刊
愛山文集 故山路愛山 五、〇〇
露西亞に遊びて 大庭柯公 二、〇〇
大正六年朝鮮經濟年鑑 一、四〇
取引所論（上卷） 二、五〇
刑法要綱 大場茂馬 二、五〇
英和化學工業語彙 一、〇〇
新式圍碁寶典 第一 五段鈴木爲次郎著 定價六十五錢
世渡り上手 六〇
[illegible]
大阪屋號書店

…本邦産家畜市場に於て第一回畜牛…品評會を開會し道廳より宮本技師新川技手審査員として出張り出品數百頭外參考牛として保…等一六、三等三〇、四等一九頭な…▲普通學校々舍新築 提川公立普通學校にては入學兒童年毎に…

◎客月木浦金融 開港以來…棉花の出廻り益々旺盛と…なり十一月末迄の同地廻著累計大約七百萬…れ稀有の高騰を告げ下旬に於ける…くも三十…を下らざる見込…なり而して之が相場は原棉商につて調順に移出行はれ其額八千二百三十九擔此價額五十五萬六千圓を…旬に於ける…の如き滯貨を訴ふることなく極め…に於て流通する貨幣は日貨、支那貨、露貨の三種なるが十月末現在…の調査に依る圖島市場存貨は大約…萬元小洋十三萬元と稱せらるゝが北鮮貿易增進に伴ひ日本貨…資金の流入等の爲め其後日本貨幣…

◎輕鐵下旬成績 十一月下旬に於ける朝鮮輕便鐵道會社大邱河陽間運轉成績を聞くに左の如し（大邱）…

☒巳年の終りに 毒蛇捕りの話し 光りを眩しさうなサルモサ

その石油箱の蓋を取ると箱の中には蛇を巻いて互ひに重なり合つてゐた數十匹のサルモサが明るい光りを見て眩しさうにノロノロと動き出した。四十越の男はその箱の中を指しながら「御覧なさい。サルモサはこれです、蛇類は皆そうですけれどもこのサルモサも矢張り

冬は地籠りを して食べも動きもしませんが舊暦の四月頃になると餌食を漁りに出て來ます。そして同じく舊暦の九月の末になりますと又ソロソロ地の中に潜つて了ふのですが、といつは妙に綺麗好きでして夏出て來るときは必らず綺麗な砂場などか水の邊り、岩の下に蛇を巻いてゐます、又怒つた時は決して匍ひもせねば動きもしません、そして首を眞直に立て丶穴の開く程物を覗つて嚙みつきます、七八月頃は草に蛇の上がる時期ですから身體にもその毒氣が沁み込んで

その時嚙まれ たが最後忽ち全身に 毒が廻つてそれはどんな偉い醫者が來ても助かりつこなしです。そしてそいつは非常に深く嚙むので綿入の足袋位は平氣で歯が通りますよ、尤も靴などには通りますまいがね。俺共も時々捕り損つて嚙まれる事がありますが一生この商賣をして生きて往く樣に出來てゐるのか決して死ぬ樣な事はありません。たゞ嚙まれた所が恐しく腫れるのです。しかし藥も何にも付けずにその儘放つて置くと自然癒るのです、捕り方ですかそれは極くやさしい事ですよ。」と云つて先の曲つた

針金で箱の中 から一匹摑み出して 鐵鉤の上に長く延ばして置いた、そしてそれを針金でギユツト押へて『捧切でかう押へるのです、そして下顎の根元を指で抑へると自然口が開きますよ。御覧なさいこの通り』と顎の根元を抑へて私に見せる。抑へられたサルモサはパット眞赤な口を開けて先の二叉に裂けた、黒い舌をベロリベロリ出した。私はそれを見て身體がゾクゾクする程氣味が惡かつた

「毒蛇が怖くつてこんな稼業が出來るものですかい」とダンクンの親方がかうして袋の中に入れます何に怖くはありませんよ

これが怖くて この商賣が出來る物

通り舊の四月頃にノソリノソリ地の中から出て來るのでその頃になると俺等が皆手を分けて捕りに出かけます。そして一匹でも見付けたら決して逃しません、何しろそれが販の種ですからね。しかし一寸捕損つて穴の中にでも潜り込んだら決して出ません後から素手で引張りますがたとへ胴が二つに切れても出ないのです、そしてこのサルモサは稲子や蟋蟀の類を食ひ水を飲んで生きてゐるのですが捕つて來て箱の中に入れて置くと水の外は決して何にも食ひません。それで何時までも生きて居ります（つゞく）

◆さむ空（西小門にて）

◎寒い寒い 石炭は何處から來るか

京城もめつきり寒さが加はり厳冬の候も近いて來た、斯うなつて來ると採暖用燃料の心配が起つて來る炭も薪も段々値段が騰つて來た中でも採暖用の石炭と云ふ事が昨今各方面の話題に上つてゐる所で

◇我が京城の 石炭輸移入額を見るに大抵年額七萬三千餘噸であるが勿論之れは年々多少の增減を見る事であらうが大なる相違は先づ無いものと見てよからう仍ち京城の商業會議所の調査に由ると、龍山驛に著荷するもの約四萬噸、南大門驛に一萬一千噸、西大門驛に九千噸、往十里驛に二千餘噸其他から

◇麻浦に陸揚 する石炭が一萬一千餘噸合計七萬三千噸ばかりの石炭が京城に輸移入される譯である此の内で支那炭は悉く鴨綠江に於て通關し京義線に依つて搬入され内地炭は主として仁川で通關し艀船を以つて遡江し市外麻浦に陸揚するものと及び京仁線に依つて搬入し來るものとがある而して麻浦に陸揚する分を除き前記

◇各驛に著荷 する六萬二千噸の石炭は京義線に因つて五萬八千噸、京仁線に因つて四千噸は搬入される割合に成つて居るが前にも述べた通り其の京仁線に因るものは皆内地炭で京義線に因るものは少量の安州炭を除き殘は皆支那炭である事言ふ迄もない。以上京城に輸移入される七萬三千噸の石炭を各炭種別に數量を擧げて見ると――支那炭の一部には本溪湖炭、煙臺炭等も

◇多少は這入 つて居るが其の數量極めて少く殆んど全部撫順炭と觀做して差支へは無からう又内地炭は其の地理的關係上悉く九州炭であるらしい――即ち撫順炭が五萬五千噸、九州炭が一萬五千噸安州炭が三千噸ばかりである。

●注意● 當業者に就き調査する所に由ると内地炭の京城移入額は三千噸を算するに過ぎない之れ或は眞に些少いかも知れないけれど以上記した數は鐵道並に稅關の統計に信じたもので有…

◎年賀郵便を差出すには 何すれば好いか

年賀郵便物に關する注意につき京城郵便局長の語る處によれば年賀郵便物の特別取扱は本月十五日より二十九日迄であるが年々期限間際になつて差出すものが多く昨年京城局で十五日から二十七日まで十三日間に取扱つた數は三十萬七千七十八通で二十八九の兩日に取扱た數は三十九萬九千二百五十通であつた故に差出人に於ても

▲繁忙な年末に 迫つて出すより特別取扱開始前に準備して開始と同時に差出す方が繁忙期の時間を費すことなく且つ發送遲延れなどを生ずることなく總ての點に利益が多からうと思ふ殊に遠方宛の郵便は二十八九日に差出すときは一月一日迄に先方に到著しないから折角の特別取扱も効果が無くなる譯である特別取扱の年賀郵便物は『年賀郵便』と記載した紙札を附け一束にして郵便局又は郵便所の窓口に差出すこと定められ數量の少ないものに限り封筒に納め『年賀郵便』と表記して

▲郵便函に投入 することを得るものである、然るに往々之を封筒に納めず帯紙位を挿げて出すものもあるが之は取集めの時散亂になつて外の郵便物と混同する事があるから注意しなければならぬ又た郵便料金は不足があつてはならぬ事、右期限内に必ず出す事、外國郵便は特別取扱をなさせる事、名宛人及び差出人の宿所氏名は完全に記載する事を忘れてはならぬ、本年一月京城局で取扱つた年賀郵便で配達も還付も出來なかつたものが四百七通あつたとは困つたものである

◎十錢紙幣出づ 十錢紙幣は六日發行せられたり（東京電報）

◎大阪の火事 七日朝大阪西區木屋町千日土地…

◇演藝雜記帳 六日の晩朝鮮ホテルのコンサートホールに素人義太夫の鼻競べがあつてその席上始めて白上貞一氏の義太夫なるものを聽いた、語り物は寺小屋だつた▲籐内から『太夫風邪にて音聲を痛め居りますれば……』と斷りがあつたせいもあらうがどうも思ふやうに語れぬらしく三味線に調子を下げてゐた▲君の聲は太くて高い義太夫には打つてつけた聲だが惜しいかな腹から出てくる聲とは受け取れなかつた、喉から上の聲だけに折角巧みな節廻しも聽衆を感動させず當人も息苦しさうだつた▲だから、松王と源藏との人物がハツキリせず努めて語り分けようとする苦心は充分受取られたに拘らず松王には散々失敗した特に首實驗のあたりが最も惡かつた▲しかしそれを補ふに與の千代の口說きの運が傑れてゐたことを忘れてはならぬ、それから語り出しにしてもサワリにしても旨いもので綺麗な淨瑠璃であつたことは聽衆の多くは認めたらうと思ふが何しろ力の足らないのが殘念で之れを要するに座敷淨瑠璃だといふことになるが▲しかも私の茲に言ふ座敷淨瑠璃といふ言葉は侮蔑的の意味から用ひるのではない、何故なれば素人として寄席や劇場で一般公衆に聽かせる樣な場合が尠なく親戚や知己を招いて座敷で語る場合が多い以上本太夫の語るような太い聲では却つて調和がとれないし人形を活躍させる事にばかり重きをおいて盛んに殺な身振りをしたり見臺をバタバタ鳴らすのは餘り體裁のいゝものではないと思ふからである▲といふ見地から私は座敷淨瑠璃を賛成するが唯白上氏のは其處まで及ばないのが物足らなかつたのである（せいたらう妄評）

◎發狂して一名を打殺し 十三名に重傷を負はす

滋賀縣和邇村大字小野に於て生魚商祝豐吉（三五）は六日夜行商の途中發作的精神病起し十四名を鐵にて打ち倒し即死一名危篤一名重傷十二名を出せり（大阪特電）

…物倉庫より出火三棟燒失せり（大阪特電）

…九…に信書を封入することは法律違反であるのみならず往々郵便に之を封入し内地稅關檢査の際發見せらるゝものあり且又是等の行爲は刑罰に處せらるゝものに付注意すべきことなり

◎梨花學堂出火 七日午前八時五十五分頃京城貞洞私立梨花學堂三年級の教室備付けの暖爐の煙突の破れ目より漏火し天井に延燒せんとしたるを職員生徒協力して直ちに消止めたり常備消防隊出動せしが幸に鎭火後なりしと

◎淑明校學藝會 京城淑明女子高等普通學校にては校舍新築の第一著手として七十二坪の講堂兼屋内體操場の建築中の處此程竣工せしを以て八日午前九時より落成記念學藝會を催し同校生徒の談話、唱歌其他三十餘番の演習ある筈なり尚同校は引續き校舍本館建築の計畫にて近く著手の筈

◎小包郵便物と注意

年末には商品の發送其他個人間の贈答の爲め小包郵便物の取扱極めて繁多なれば左記の事項をなして差出すべしとなり

（一）小包は內容品を保護する爲堅牢の紙又は布を以て包裝することになつて居るに往々脆弱なる紙を以て包む爲遞送途中在裡品脫出し遞送不能となるもの尠からず又諸紐穢及ブリキ罐等は至て破損し易しきものに付可成斯かるものを使用せざる樣注意せられたし

（二）流動體在裡のもので包裝不完全なる爲途中外裝破損し他の郵便物を汚損せしめ其自物の宛名不明となり配達遲延することあり

（三）小包を包裝したる紙に淡墨にて宛名を記載する物あり是等は途中にて磨滅し宛名人も差出人も不明となり其取扱に多くの時日を要し腐物の如きは腐敗に近づきて配達せらるゝものあり

（四）木札に名宛を記載したるものを小包に結付け差出すものも往々結糸切斷し又は木札毀損し住所不明となり配達遲延又は不能に陷るものあり

◎慘死者遺族に慰藉金 去四日古市町附近に於いて電柱に觸れ慘死を遂げたる笠井町崔姓女に對し瓦斯會社にては慰藉金として金五十圓をその遺族に寄贈せりと

◎仁寺洞の小火 五日午後五時五十分頃京城仁寺洞百九十番地林漢龍方溫突の焚口より發火し三間を半燒して六時十分消止損約五十圓

◎曹谿寺の講話 八日午後一時より大和町三丁目曹谿寺に於て成道會に際し曹谿寺住職の講話、閑味粥の接待ありと

◎自轉車專門泥 京城松月洞林順泰（二○）は九月末以降に西大門町二丁目韓樂根方外二箇所に於て自轉車三臺（合計百八十五圓）を竊取して鍾路署に捕はる

◎幼稚園休業延期 南山幼稚園は例年十二月廿日を以て冬期休園せしも本年は五日間延期し廿五日迄授業す可し

◎人煙稀薄なる 咸南の奧 火田民の生活

咸鏡南道警務部長は十月中旬より管內巡視をなしたるが其の談に曰く

北鮮と言へば直ちに深山幽谷を聯想し咸鏡道と言へば猛獸を聯想するが、長汀曲浦二百七十哩の海岸線に沿ふ平原帶を除く外は、全道に渉つて山岳重疊し

▽交通の不便 な事と、人口の稀薄な事と、猛獸の多い事とは全く一驚を喫せしめられる程である僕は今度一ケ月餘の日數を費して咸興より新興長津を經て三水郡に至り南下して豐山、甲山、北靑、洪原の四郡を踏破したが其行程實に二百里、道中には赴戰嶺、秩物嶺其他上下二里以上の峠が十六七箇所もあり、到る處山嶽が猶はつて居るため

▽頗る困難を 感じた殊に長津から三水郡に入ると人口は全く稀薄になつて十里行つても十五里歩いても部落らしい部落が見當らない山又山に分入ると全く人跡の棲み得る事さへ想像し得られない奧山に一軒家がポツツリあつて隣家はざつと五六里も離れてゐると言ふ具合である、我々は幸ひ斯うした民家にゴロ寢の夢を結んだから

▽野宿は免れ たが彼等の生活狀態を見ると宛然群を逐ふて推移する大古未開の民そのまゝで人間らしい香りは毫もない、彼等は社會的に敗殘して山へ籠り森林を燒て火田を作り馬鈴薯と燕麥とを收穫してゐるが近年火田の取締が嚴重であるから官憲の手の届かない奧地へ逃げ込まうとするそして大古蒼々の森林を拓いて行くのであるから北鮮の森林帶も彼等の爲すがまゝに委せたならば遠からず

▽一木一草を 止めなくなるであらうと思はれる我々は斯うした火田民の生活狀態を視察しつゝ三水郡から北盜の甲山郡に入り南下したが咸南奧地の如何なる地方も憲兵道路が充分に敷設されてゐるから警察力は隈なく行渡つて從來法律の保護に浴せなかつた住民も枕を高うして寢られると言ふので到る處で感謝してゐた

◎年末贈答品に
▲漢陽高麗燒
○酒器 壹揃入 一圓五十錢
○菓子器 同 五圓
○茶器 同 一圓五十錢
其他種々
▲明太魚カラスミ 樂しき晩餐にキット御家族に喜ばれる
◎芝荷入 體裁よき 一本十五錢
進物用化粧函入種々
京城本町二丁目電二五〇
發賣元 海市商會

公債株式現物賣買 現物擔保七八掛日歩二錢にて御融通の方法も有り御問合を乞ふ
六十七回勸業債券有り 債券十圓に付武圓の入金にて殘額低利に融通し當籤金利子全部を收得し得し十圓にて五枚を買ひ當籤照合多き方法なり委細御照會下さい
兩替開始 五十錢以下の小錢準備
京城吉野町一 電話三十番 古開商店

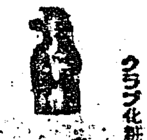
一ダイナマイト外三點 右購買ス詳細ハ十二月四日ノ官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

御名刺印刷 コロタイプ石版活版美術印刷 地方は小包にて迅速御送付申上候 貴需に應じ可申候代金は振替又は郵券にて御拂込被下度候 京城長谷川町百五番地 中田普成社 電話二一〇五番 振替京城四六二七

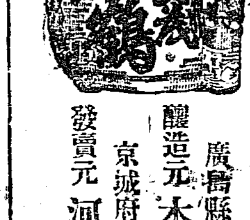
京日案内 普通 一回前金二十錢（五十字以內） 番外 一回前金一圓（二十字以內）
▲申込は一回以上の前金に限る
▲番外廣告は必ず數字の番號を記入なさるべし

男女採用 技俩次第月三十圓以上 本人直接來談 履歷書要 京城吉野町一の一二七 新聞支社 143
◎店員入用 十二三歲以上十六七歲迄月給最初館付六圓本人來談 京城本町二 松菊小間物店 142
◎紙箱製本職工數名募集 希望者は來談あれ 本町二丁目 町田印刷部 140
◎寫眞門生至急入用 十七歲前後 市内に保證人を要す 電話一八三 武橋町 菊田寫眞館 113
◎男女有給社員募集 但要保證人 武名 給料外に歩合 希望者來談あれ シンガーミシン會社本町分店 134
◎ドイツ製ピアノ使用後一年半 品同樣の者讓渡たし 大和町一の四一 電三一〇五 杉野 115

看護婦入用 有無に不拘調劑に經驗を有する希望者來談あれ ◎京城本町二丁目 浦尾旅館前 京城醫院 電七四二 118
年金恩給 最長期即時立替利極安前引なし 四年半迄保險不要 ▲京城永樂町 商品陳列館表門前 江州屋本店
特約店募集 石油代用品販路廣大無盡各地一ケ所特約店を設く詳細は郵券封入照會あれ 京城本町二の七一 酒井本商店
給仕募集 日本人年齡十五歲以上本人來談 京城明治町一丁目 日韓印刷會社 55
店員數名募集 本人來談 京城本町二 海市商會 124
恩給年金立替 五年半迄無保險 利一割 京城若草町 金光教會裏手 電話二三九一番 國江商會 96
恩給立替 年金長期低利即時 三年分迄保險を要せず手數極安 京城日の出町十一日の出學校裏門前 吉田屋 90
恩給立替 年金長期低利即金 三年分迄無保險千圓以上特別扱 手數料最低減 京城若草町百六 電話三〇一番 西村商會


良品の藥品を賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから
御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番

開院 京城 入院隨意 痔疾專門
昨秋來京城長谷川町安東病院に於て痔疾患者之診療に從事本年四月以來滿洲漫遊引續東上中之處患者各位の懇望に依り再び左記之處に於て診療に從事可仕候
（い）ぼぢ（は）ぢ（ろ）だつこう（に）じらう（ほ）さけじ（へ）かゆじ（と）ねけじ（ち）こうもん（結核、梅毒、痳毒）（り）こうもんきようさく（ぬ）痔疾神經衰弱
京城明治町二丁目三十二番地 元朝鮮賣藥會社跡（電話二一〇二番）
久枝肛門病專門病院 院長 久枝秀喜

優等清酒


廣島縣西條町 醸造元 木村靜彦
京城府鍾路（中央市場） 發賣元 河野酒店 電話二二〇八番

杜甫と彌耳敦 蘇峰學人新著 民友社創立卅年記念出版
定價六圓 郵稅卅錢 上製 洋紙 菊版八百八十頁 定價三圓五十錢 並製 郵稅卅錢
杜甫と彌耳敦とは著者が童幼時代より特に愛誦し私淑し來れるもの今茲に三十餘年の蘊蓄と構想とを傾注して此の文學界空前の大著を成就す本書は東西兩大詩人絕特の位地技倆作物思想人物を描盡したると同時に其の背景たる時代の政治宗教文藝思潮を論じ英雄豪傑名士美人をも語り之を綜合大觀して悉く詩化し美妙化し讀者爲めに恍として東西を連貫せる一大詩境に逍遙するの感あり
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

撫順瓦斯コークス 京城太平通二丁目 西崎商會 電話 商會用二七二七 倉庫用二一七七 支店用二四〇七番
御小賣共廉價に販賣可仕特に地方行は迅速に御取扱可申候

頭分けには二葉ポマード

紳士の頭髮を飾る高等練香油コスメチツク水油を要せず調髮は思ふがまゝ御婦人は申すに及ばず到る處で高評
大阪久寶寺町 角倉支店

蠶種と桑苗
豫約御注文の最好期！
蠶種に對しては目下特に貯藏冷藏示庫建設中に付可成早目に御申込被下度 桑苗は優良なる現品多數用意して御待合居候 勿論貯藏御依頼にも應じ得る見込に御座候 各府郡面の手當の行屆は
京城漢江通四番地 東蠶社種苗部 振替口座二三六二番・長電話龍山六四一番

櫻御殿

第八十九回　大阪 霞の家主人

變生男子(三)

『八助は居らぬか、六藏は居らぬか、權次、藤内、大鐵ぢや、皆が來い、急いで來い』

助左衛門は大聲で呼き立つた、その聲を聞き付けて、眞前に驅け付けたは、助左衛門秘藏の忠僕八助であつた

『何事でござります』

『初瀬御寮の姿が見ゑない、お主は知ぬか、その行方を尋ねて見よ』

『心得てござります』

八助は乾淨房に於ける迎者その他の事情を見聞きして居た、何處といふ當はなく驅け出した、續いて若黨の六藏、仲間の藤内、權次、三文奴、髭奴、采女の家來までが立ち出で、がや〜と評議した。

その中に夜が明ける、有らゆる人數が八方へ手を分けて[illegible]る『助左衛門は心配の色[illegible]

『見付け次第に伴れ戻れ、[illegible]も御當家の籠の湯氣で育つた身が命惜しさに不義をする所謂あらうか』と歯噛みをする

采女も眉を顰めて出て來る、妻女も[illegible]お鍵も蒼い顔して座に列る、勤めにも出ねばならぬが、萬一濟之[illegible]と顔を合はせることがあつては武士の恥辱此の上ない、と思ふので、遂に病氣届を出した

『何處を尋ねてもお行方は知れません、無論御殿へもお歸りになつて居りません、方野樣はお聞き好しではり、籠手を求めて、御樣[illegible]を聞き合せましたが、ちつともお便りはあらせられぬさうでございます』

八助の報告はこれであつた、續いて六藏、權次、藤内と諸方面の搜索隊も歸つて來るが、誰一人手掛を得たものは無い、助左衛門の眉根の黒が次第々々に黒くなる

『それでお鍵どのは何うなされたのでございませう』

お鍵は[illegible]やかに[illegible]云つたは[illegible]であつた

[illegible]頭にそれと、筆といふ端女があつた、彼は何としたであらう」さ

助左衛門も初めて氣が付く

『もし、お筆が伴れ出したのではござんせぬか、さうでも無ければ彼に迷惑の掛るのを承知しながら急に姿を晦ますような初瀬どのではあるまいと存じます』

お鍵は同情をもつて云つた

『好い處へお氣付きなされた、お筆を尋ね詮議したら、好い獲物があらうも知れぬ、誰か知らぬか、お筆の家を知つたものは無いか』

と采女も力付いて云つた

『されどお筆の在所を知つたものは一人もなかつた

『何處の者でござらう、遠方の者ではないゆゑ、廣島に程近い田舎娘ではたしかに知れる、然し、その[illegible]の[illegible]合がのう』

[illegible]も助左衛門の愛を分つて云ふ、采女と初瀬との間には、恩誼の絆が結ばれて居る、初瀬に惡い事があると、采女は我身にかゝつた事のように迷惑する

『初瀬の所在を探すよりは、お筆の在所を尋ねる方が捷徑ぢや、お奥のお腰元で尋ねたら、身許はきつと知れませう』

八助は何につけても役に立つ

『いかさま〜、それでは誰方かお腰元衆に訊いの縁を手繰つて見やう』

助ら云ふことに一決して、助左衛門は一室に籠つた

お筆の在所の知れる時は、初瀬の命の終る時である、采女はどうかして知れぬようにと祈つた、されど助左衛門の立場を考へると、少しも早く知れねばならぬ、恩と恩との間に挟まれて、心に大事の狼狽を秘く采女の心は混亂した

皮膚科 徽毒 皮膚 梅毒 淋病 膀胱 生殖器 泌尿器
入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元鮮銀前)
佐藤醫院 (電話一一七三番)

流行は趁ふな

[illegible]

衣服を作る場合流行ものばかりを作らうとする人があります。經濟が許せば如何なる流行を趁うても夫れは差支ないやうなもの、有るか無しかの金で作る衣服を最新流行のものにしようと云ふのは寧ろ愚なものです、併し都會生活をなし社交をしなくてはならぬ人に對し全然流行を無視しろとは云ひませんが少し深く考へて頂いて輕佻に流行に乗せられないやうにするのです、常識で考へれば此流行は長く續くかホンの一時的のものかは直に分ります永續する流行は必ず經濟的なもので直に消ゆる流行は不經濟的のものです。十二三年前全盛を極めた牡丹色の如き僅か一冬か二冬で全滅したのは其色は褪色し易く、一寸した汚點でも目立つと云ふ經濟的でない點が多かつたので色合が派手で美しいに係らず忽ちに全滅したのです次に流行した御納戸色は經濟的なので可成永續きがしました、御納戸色から鼠系統の色が流行し今は

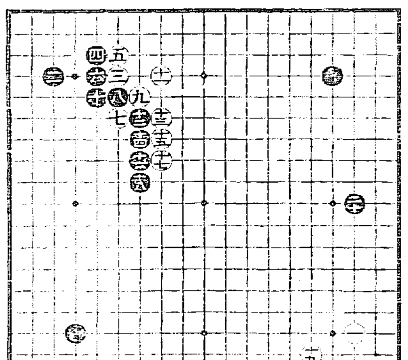
◇茶系統の色が全盛です、此茶は比較的不經濟な色ですから今度は其反動で最も經濟な黒が流行せんとする兆があります色すら不經濟な流行は永續しません、から物品に於ても左樣でコンナ草履が流行するとかコンナ鯰が流行するとか云つてもそれが不經濟なものでしたら瞬く間に其流行は滅ぶるのです故に不經濟的な流行は趁ふべきではないのに限ります

◇鹽鮭料理　鹽鮭は焼いて喰べるに限つて居ますが北國の鹽鮭の切身を南天の葉と一緒に水に浸して置くと鹽が早く出て生鮭のやうになります斯うして置いて照焼にすると味は格別です、同じ方法で鹽出ししたのを吸物の種にするのは鹽出しをしてから日本紙でグル〜巻いて水を紙に吸はせてから煮ると身が締つて美味しく頂けます、煮て之に椎茸をかけるのも珍です、皮を去り水煮にした後擂鉢で擂つて再び白砂糖で煮ると[illegible]が出來ます

[illegible] 難波英夫 [illegible]

圍碁手合 (完)

三段 山平壽氏　二子 大久保雅彦氏



冬物賣出し
軍隊拂下品被服類
防寒外套、襦袢、袴下、手袋、靴下、巻脚絆、鐵道、多服多數品揃特に勉強仕候
雜貨店特製品類
人夫用多數御注文は勉強仕候
長靴、トンビ、二重マント、インバネス、トンビ大小洋服大小
其他中古品トンビ品揃
和服類中古品
男女給袷綿入紋付羽織、袴其他品揃
右品共特に勉強販賣仕候
龍山元町二丁目 電話百五番
和洋衣服商 金子奥市商店 振替京城三八一三番

日本郵船仁川出帆
大連行、秦皇島行 和摸丸 十二月一日 / 高砂丸 十二月十二日
三河丸 十二月廿一日 正午出
仁川港 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 十二月十一日 / 大有丸 十二月十八日 / 神代丸 十二月十三日 / 若代丸 十二月五日 後四時出
仁川 尼崎汽船 回漕部

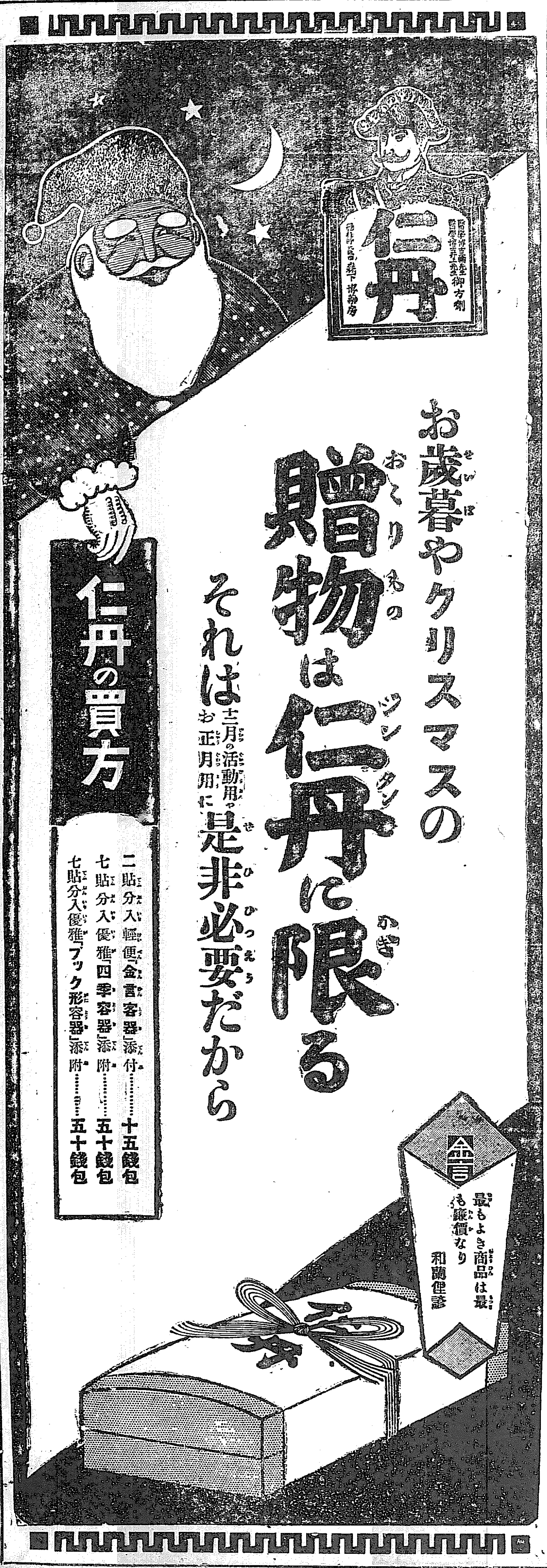
大阪商船仁川出帆
鎭南浦、大連行 / 南浦、神戸、大阪行 / 群山、神戸、大阪行 / 木浦、釜山、仁川、長崎、大阪行
安東丸 / 安平丸 / 西湖丸 / 宮島丸 / 清津行(元山出帆) / 上海、基隆、打狗行(大連出帆) / 湖北丸
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話七〇八番
切符發賣所 内國通運會社京城支店
切符發賣所 仁川京城 開業旅館 電話六一二番

朝鮮郵船 出帆
釜山、元山、清津、城津、雄基、浦項行 各船
元山より北鮮各地經由雄基行
釜山より群山、木浦經由仁川行
濟州島行、長承浦、麗水、巨文島經由
成鏡丸 / 京畿丸 / 穩城丸 / 三浦丸 / 元山丸 / 平壤丸 / 江陵丸 / 忠清丸 / 順天丸 / 仁川丸 / 晋州丸 / 麗水丸
本社 京城南大門通 電話(二九五三) 釜山支店 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部 / 木浦港代理店 山野回漕部 / 松原運送店

共同汽船 仁川出帆
三田波丸 芝罘、大連行 / 共同丸
仁川代理店 野口商會 / 京城取次店 同 回漕部

釜山出帆廣告
和歌浦丸 / 立神丸 / 元山丸 / 天眞丸 / 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 / 門司、宇品、神戸、大阪行
釜山港 大池回漕部

間自動車著發時刻
織居自動車部 金泉支部 金泉電話四八番



大阪株式特電
七日前場 [illegible]
東洋紡績 一七三、一〇 / 大阪商船 一九三、一〇 / 日本郵船 二八六、三〇 / 同新株 一七七、五〇
大阪期米 三三、八三 三三、五〇 / 三三、八一 三三、五〇 / 三二、八一 三三、五三
▲七日後場 大阪後寄小高き入商にて中二十圓十錢先十九円七十四錢と寄付[illegible]五錢を小觸り合の[illegible]
△中限一節二十圓十錢三節十錢[illegible]
七日の二月限 寄付 十九圓七十四錢 / 止メ値 十九圓六十九錢 / 安値 十九圓六十九錢